



千曲市役所 御中

# 千曲市様の持続可能性を

広報・公聴の弱点を補完する

「行政コミュニケーションの最適化」で  
実現する双方向参加型地域経営インフラ

「ポリネコ！CHIKUMA」



ポリネコ！



2023年 3 月24日

成果報告・提言書  
2022年度

株式会社ハンマーバード 代表  
慶應義塾大学SFC研究所 上席所員  
岩田崇

takashi@hammerbird.jp

東京都品川区荏原6-2-5-5F

# 目次

はじめに	振り返りと展望	2-3p
概略	成果（1.仕組み、2.参加者、3.回答から見いだされたこと）	4-11p
	課題と提言	12p
設問テーマ 提言	設問テーマ(設問インターフェース) ・千曲市消防団 ・千曲市の防災 ・少子化調査 ・屋代中学校WS ・埴生中学校WS	14-66p
2023年度に向けた展開	設問テーマについて	68p
	設問テーマ（こども基本法への対応）について	69p
	参加者の確保について	70p
	ブログの解説、運営	71p

# はじめに

『ポリネコ!CHIKUMA』は当初、想定したテーマの展開が困難であると判明したことを受け、複数の設問テーマを展開することとなった。そのため運用は試行錯誤を余儀なくされたが結果的に、トライ＆エラーの積み重ねによって2023年からの本格運用に不可欠な運用に関わる知見を得ることができた。

(成果)、(反省点)、(提言)の要約は以下の通りである。

## (成果)

- ・ 300名を超える市民との繋がりができたこと
- ・ 防災における市民の認知（避難所にペットを同伴できること、ハザードマップの内容理解の低さ等）を確認できたこと
- ・ 防災において回答者の8割以上が、千曲市役所と市民との協働による防災を指向することが確認できたこと
- ・ 消防団に関わるデータやファクトについての理解が低い状態にあることが確認できたこと
- ・ 消防団団員の低い回答率などから内部に追加調査が求められる何らかの課題が存在すること
- ・ 中学校によってワークショップと回答参加の告知に対応に大きな差があり、学校との連携方法に一層の工夫が必要性が確認されたこと
- ・ 中学生から『ポリネコ!CHIKUMA』への高評価が得られたこと
- ・ 市役所内での告知方法について画面上での告知に限界があることが確認されたこと
- ・ 広報誌による単発の告知の限界を確認できたこと
- ・ 漠然と市民の皆様へというアプローチより、この課題に関わるあなたへ（\*\*さん、\*中学\*年生の皆さんへ）と具体的にアプローチするほうが回答率が高いことを確認できたこと

## (反省点)

- ・ 参加登録者を多く確保できなかった  
（>市民とのコミュニケーション方法、告知方法を点ではなく、継続的な線、面とする方法をつくる必要がある）
- ・ 参加登録者と双方向のコミュニケーションができなかった  
（>）
- ・ 議会議員と一緒に考える機能を活用する機会（設問テーマ）をつくれなかった  
（>各課、議会との連携を緻密に行う必要がある）
- ・ 庁内（市役所職員の方々）からの参加登録者が伸び悩んだ  
（>市役所内での『ポリネコ!CHIKUMA』への認知と理解を高める必要がある）

## (2023年の展開に向けた提言)

- ・ 『ポリネコ!CHIKUMA』本来の機能である、双方向かつ、住民と議会が共通のエビデンスに基づく意思表示の機会を千曲市の持続的発展に向けて活用する機会をつくる
- ・ 広報との連携、関係各課との連携など設問の前段階での庁内連携を実現する取組を意識的に行う
- ・ 学校（教職員）、PTA（保護者）、商工団体など市役所の外の関係者とポリネコ!CHIKUMA』の展開に向けた関係を構築する

# はじめに

**2022年度と2023年度『ポリネコ!CHIKUMA』を判りやすく示すと下記のように表現できる。**

初年度では、学習型世論調査、意識調査などを柔軟に運用できることが確認された。しかし、市役所の職員の方々をはじめ、『ポリネコ!CHIKUMA』の本来の機能をほとんどの市民が知らない状態なので、2023年度では、双方向の住民参加システムとしての機能を発揮できる機会を最大限活用しつつ、広報などとの連携を一層深め、参加者を増やすことを念頭に置く。

## 2022年

**『ポリネコ!CHIKUMA』を調査システムとしてスタート**

- >調査プラットフォームとしての運用の基礎が確立された。
- >広報、現場（学校、消防団等）との連携が不十分で、参加者の確保に課題



## 2023年

**『ポリネコ!CHIKUMA』を双方向の住民参加システムとして運用**

- >双方向の住民参加システムとして運用できる基礎構築を目指す。
- >広報、現場との連携を強力に行い、参加が増える>ポリネコ!CHIKUMAで市役所と繋がる市民が増える好循環の構築を目指す。



# 概況-1.成果-仕組み

『ポリネコ!CHIKUMA』の仕組みは下記のようにまとめられる。

住民（関係住民も含む）と行政（時には議会）との  
継続的な信頼関係を、データやファクトに基づく意思（輿論）を通じて構築する  
新しい住民参加・デジタルデモクラシー（EBPM対応）の仕組み

◆既存メディアの構造的な脆弱性を補完することで、公共圏の再構築に不可欠なコミュニケーションを実現

既存メディアの構造的な脆弱性

- ・情報の送り手は、受け取り手がどのような受け取り方をしたか判らない
- ・情報の受け取り手は、送られた情報に対して意思表示できない
- ・よって、情報の送り手と受け手の間で信頼関係を構築することができない



2022年度では、下記の1.2の調査機能のみを運用した。  
2023年度では、3.4の意思形成機能も含めた運用を行う。

複数種の調査/記事を継続的に組み合わせ双方向のコミュニケーションを実現

## 1・一般的な意識調査

（アンケート（\*コメント受付のような運用も可能、既存の各種調査の置き換えにも対応））

## 2・学習型輿論調査

（回答者が、設問で扱う事象に関わるデータやエビデンスを知り、学んで回答）

## 3・輿論に基づく意思形成・合意形成調査

（回答者が、設問で扱う事象に関わるデータやエビデンスを知り、学んで回答し、各回答タイプに追加設問を配信して、意思形成、合意形成を行う）

## 4・輿論に基づく議会も含めた意思形成・合意形成調査

（回答者（議会議員も含む）が、設問で扱う事象に関わるデータやエビデンスを知り、学んで回答し、各回答タイプに追加設問を配信して、意思形成、合意形成を行い、ルールや条例等の意思形成を行う）

# 概況-1.成果-仕組み

『ポリネコ!CHIKUMA』は千曲市HPからリンクで参加登録できる。

## 市役所HP



千曲市ホームページ  
<https://www.city.chikuma.lg.jp/>

登録フロー  
 (次頁に掲載)

## 『ポリネコ! CHIKUMA』



3月末時点での設問テーマ一覧画面  
<https://chikuma.polineco.com>

# 概況-1.成果-仕組み

## 登録の流れ

『ポリネコ!CHIKUMA』の参加登録の流れは以下のようになっている。  
運用開始後に、説明文の追加など一部改良を行った。

千曲市  
ホームページ  
トップページ



千曲市  
ホームページ  
ポリネコ!説明ページ



『ポリネコ!CHIKUMA』  
ログインページ



はじめての場合は、  
“新規登録は  
こちらから”を  
選択



メールアドレスを  
登録し、送信



メールを受信  
リンクから設定画面  
を開く

# 概況-1.成果-仕組み

## 登録の流れ

必要情報の入力項目が多いという指摘もユーザーからあるが、継続的な関係構築を行う上で、架空アカウントの発生を予防する意図で、項目を設定している。（この点については、市民に向けた説明を都度行うことが必要と認識）

必要情報を入力

ユーザーID  
パスワードを  
入力

設問テーマ  
選択画面



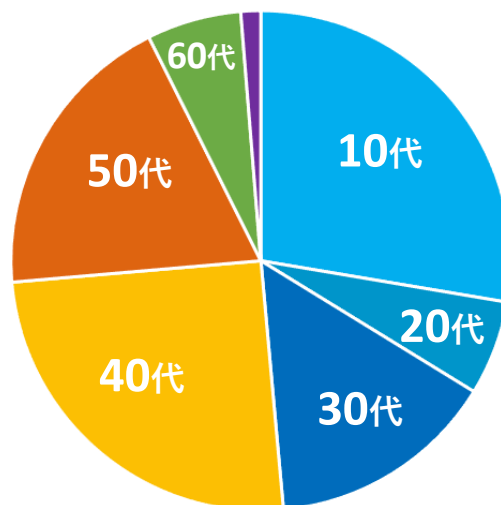
中学校ワークショップ用に登録  
の流れを説明するシートも用意



## 概況-2.成果-参加者

現状 > 参加登録者315名（10代～30代で49%の若い年代構成比、男女比は7-男性：3-女性）

参加者の年代構成



最年少は12歳、最高齢は73歳  
10～40代で、74%  
各地の住民参画の課題である若い人の声が聞けない状態とは一線を画す参加者が参加登録を行っている。

参加登録者からのコメント

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代

ボランティア団体を運営し、地域猫を広めたいと活動しています。不妊化助成金の予算や、情報共有の仕組み作りを行政、市民の皆様と考えていきたいです。

千曲ポリネコのようなデジタル化したツールでの住民参画の活動を待っていました。

スマネットを生かした取り組みがされている（原文ママ）

市と企業と市民をもっと繋げてほしい

時代に即した情報の伝達を引き継ぎ検討したいと思います。市民の意見を集約できるポリネコシステムは非常に有効なツールだと思います。

年代別の所有デバイスが異なるとか、紙媒体を読む世代が偏っているなど、市民の傾向を把握してEBPMを意識した情報発信が必要だと考えます。

興味深い取り組みで楽しみにしています。子どもたちも市政を考えるきっかけにしたいです。

市報について希望者には紙配信を止め、メールでリンク配信して欲しい。紙・印刷・配布作業が無駄ですね。SDGsはこういうところから始めては？

# 概況-3.成果-見いだされたこと-回答から

## > 3月中旬までに5つのテーマを展開



- ・回答者の**8割以上**が市民と市役所の協働による防災を指向
- ・**正解率の高いもの**→避難場所の考え方、避難所での食料配分、災害用伝言ダイヤルに関わる設問
- ・**正解率の低いもの**→津波てんでんこの意味、ハザードマップへの理解、ペットの避難所への同伴



- ・防災に関わる広報コンテンツへの反映を防災課と連携して行うことが求められる  
(ハザードマップへの理解、ペットの避難所同伴への理解が低い)
- ・2023年の防災設問と比較することで認知の変化を確認できる



- ・回答者の**指向は高い分散傾向にある**
- ・**正解率の低いもの**→すべての設問の正答率が低く、消防団に関わる情報への認知が極めて低い状態である
- ・参加者が団員の10%未満と少なく、回答動機を持っていない状態である可能性が高い
- ・高いモチベーションを持つ団員の存在も確認されている



- ・消防団への意識調査、個別のインタビュー調査が必要



- ・市役所内を対象にした意識調査
- ・回答率は16.7%
- ・少子化の要因についての意識調査として未婚回答者の回答がより多く必要であった
- ・未婚回答者の内、結婚意向がありながら相手が居ない状態が7割以上である（但し回答者数が少ないため参考値として）



- ・少子化対策のエビデンス確認のためには、ライフステージごとのグループインタビュー調査、高校生からの追跡調査が必要

## 概況-3.成果-見いだされたこと-回答から

- ＞ 中学校ごとの対応の差が大きく、2023年度に克服すべき課題として確認された。
- ＞ 両校の生徒が広報誌をほとんど読んでいない状況が明らかになり、学校での配布などの検討が必要



屋代中学校WS

- ・ 回答者（56名）の**9割以上**が市民と市役所の協働による防災を指向
- ・ **正解率の高いもの**→避難所での食料配分、避難場所の考え方、千曲川の最高水位に関わる設問
- ・ **正解率の低いもの**→ハザードマップ（学校の立地）への理解、ハザードマップへの理解、津波てんでんこの意味

### WS（ワークショップ後の評価）

- ・ 全生徒の約9割がWSが防災意識の向上に役立ったと回答
- ・ 全生徒の約9割がWSがデジタル社会に『ポリネコ！CHIKUMA』が必要と思うと回答
- ・ 次回以降の設問テーマに8割以上が参加意向を示す

- ➡
- ・ 防災に関わる広報コンテンツへの反映を防災課と連携して行うことが求められる（ハザードマップへの理解、ペットの避難所同伴への理解が低い）
  - ・ 2023年の防災設問と比較することで認知の変化を確認できる
  - ・ 他校、他学年での展開も行うことが防災の取り組みとして有効
  - ・ 防災以外のテーマでの参加機会、きっかけを一つでも多く設けることが有効



埴生中学校WS

- ・ 事前の回答が11名（約90名中）、WS後の回答も21名（約90名中）と屋代中学校と比較して少なく、学校内での告知に何らかのボトルネックが存在したと考えられる。
- ・ 防災テーマについてデータはほとんど得られなかった

### WS（ワークショップ後の評価）

- ・ 全生徒の約9割がWSが防災意識の向上に役立ったと回答
- ・ 全生徒の約9割がWSがデジタル社会に『ポリネコ！CHIKUMA』が必要と思うと回答
- ・ 次回以降の設問テーマに8割以上が参加意向を示す

- ➡
- ・ 回答率の低い事以外は、屋代中学校と同様の傾向
  - ・ 学校とのコミュニケーション（学校側の理解）が課題

## 概況-3.成果-見いだされたこと-運用から

### ・運用から見いだされたこと



- ・ 314人の千曲市と繋がる市民が生まれた。
- ・ 一方、一般的な広報・公聴が届きにくい年代との繋がりを構築できた。  
（314人のうち10代から40代が74%。）
- ・ 広報誌の単発掲出によるアプローチによる参加者確保には限界があることが確認された。22300部の広報誌から登録への流入は1%程度。中学生の約8割は、広報誌をほとんど読んでいない状態。
- ・ 市役所、消防団などでも『ポリネコ！CHIKUMA』への参加率が低いいため市役所内の各課、消防団の各団など個別に、積極的かつ継続的な説明とコミュニケーション機会の創出が必要。
- ・ 中学校でも対応に大きな温度差があり、千曲市の中学生にとって学校ごとに情報が届く場合と届かない場合があるため、確実な改善が必要。
- ・ 漠然と防災ではなく、あなたにとって重要な「防災」という建て付け（=先生などによる補足的なコミュニケーション）が回答率の向上につながることで屋代中学校での回答率（50%以上）から推察された。



# 概況-課題と提言

課題は2つに絞られる

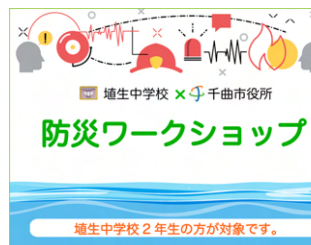
## 課題1) より多くの登録者数が必要

- 提言 当事者性の高いテーマ（例：こども基本法への対応であれば、小中学生、教職員、保護者）に対応し、登録すること＝より良い千曲市の環境構築であることを継続的に説明し、参加を促進。  
＞こども未来課、教育委員会、各学校、PTAとの連携を行う
- 提言 広報を充実させる。広報誌での特集のほか、継続的な記事掲載、QRコードの掲載を継続的に行う。千曲市の公式フェイスブックページ、ツイッター、youtubeとも連携し、千曲市の公式な住民参加システムであることを定着させる。  
＞秘書広報課との連携を行う
- 提言 市役所窓口でのカードの配布。転入届を受付ける窓口、婚姻届の窓口で案内カードを配布し、引っ越し時等に登録する機会をつくる。  
＞市民課との連携を行う
- 提言 市役所各課で行う調査を『ポリネコ!CHIKUMA』で対応することで、郵送での参加者登録を行う。  
＞各部署に『ポリネコ!CHIKUMA』の説明機会を設ける（その際、職員の方々にも参加登録をお願いする）

## 課題2) ポリネコ! CHIKUMAへの認知、浸透を高めることが必要

- 提言 市役所内、各施設でのポスター掲示ポスター群のなかに『ポリネコ!CHIKUMA』があることで公式に行っていることを庁舎内、各施設でアピール
- 提言 既存の参加登録者との交流（ワークショップ、オンライン会の実施）  
利用者の理解度を高めファンをつくる
- 提言 出張説明会、取材の実施  
町内会、商工会などに地域課題を聞くことを主目的に『ポリネコ!CHIKUMA』を知っていただく機会をつくる

# 展開テーマ



# 設問テーマ-千曲市の防災

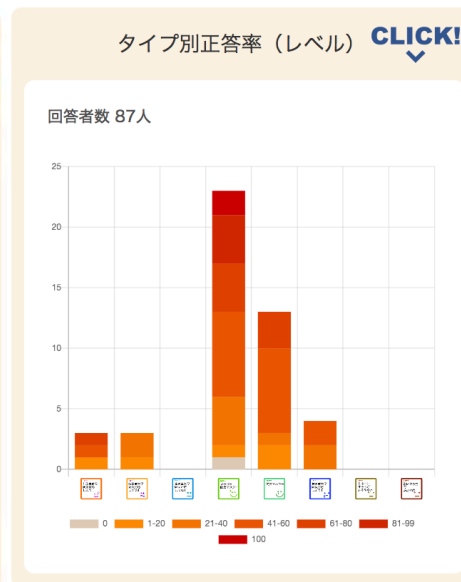
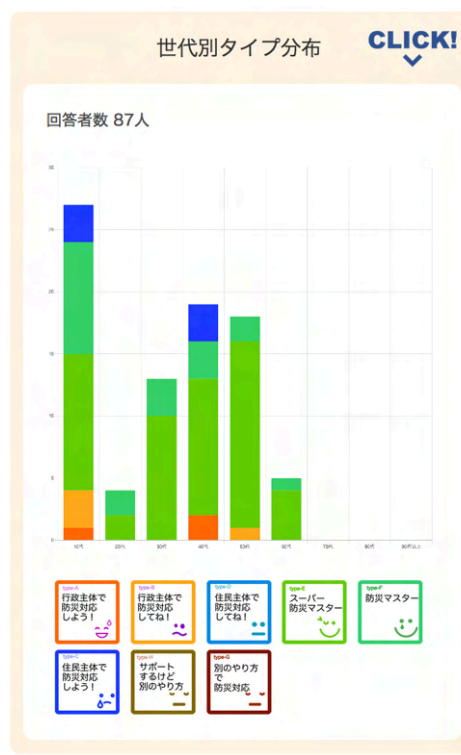
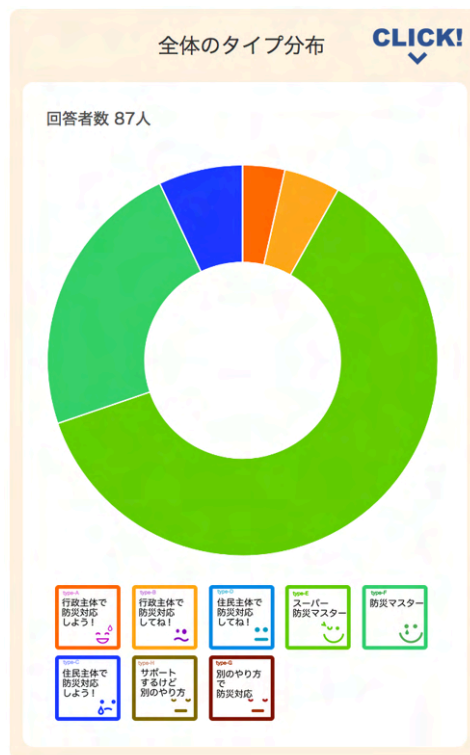
## 住民の防災への認知を確認できることを実証



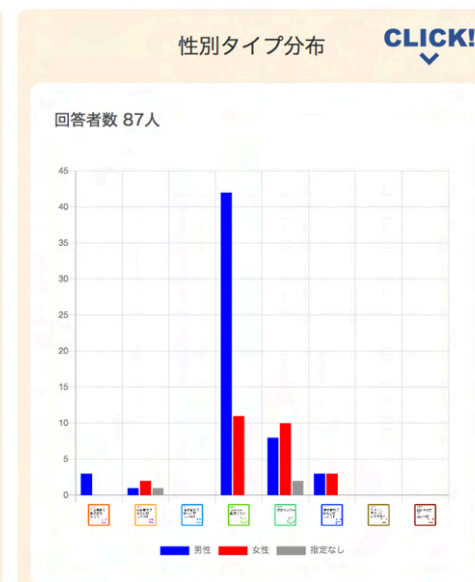
### 回答88件 学習型輿論調査として運用

回答者の84%が行政と市民が協同して防災にあたる『防災マスター』『スーパー防災マスター』（下図-緑部分）の意思表示をしており、回答を通じて、防災に関して千曲市役所と協働意向を持つ市民を具体的に確認することができた。

設問の正答率から、今後の広報などで重点的に伝えるべき要素（例：ペットを避難所につれて行けること、津波てんでんこの意味、ハザードマップの理解）も確認されており、次年度の防災広報との連携によって、より多くの回答と協働意向を確保、確認できると思われる。



↑  
正解のある設問への理解度は全体的に高い傾向にある。  
（濃い色ほど高得点）



↑  
女性の比率が少ない。  
今後の課題として、告知の充実による回答者数の確保に加え、女性の参加機会を意識する必要がある。

# 設問テーマ-千曲市の防災

正解率の低い設問が、今後の防災コミュニケーションにおいて重点的に伝えるべき事柄と言える。

## 正答率の高い設問

千曲市の防災

Q11

災害発生時、あなたがお住いや場所の安全確保が困難になった際の避難場所の考え方として、間違っているものは、次のどれでしょうか？

避難先を決めていない、知らないこと

知人、親戚の家

最寄りの避難所

ホテル（安全な場所にある）

上記以外の決めている場所があること

回答して参考情報をチェック

避難場所の考え方  
への理解

正答率89.7%

千曲市の防災

Q5

あなたは、避難所の運営担当者です。その避難所に600人が避難しています。しかし、避難所に届いたおにぎりは、400人分だけです。このおにぎりは配るべきと思いますか？

配るべきではない

配るべき

工夫して配るべき

回答して参考情報をチェック

避難所での食料分配  
についての理解

正答率85.1%

千曲市の防災

Q6

災害用伝言ダイヤルは、災害発生時に基本無料で使える伝言サービスと共有の仕組みです。お互いの電話番号を知ってれば、30秒のメッセージを最大20件送れます。災害用伝言ダイヤルの番号は、以下のどれでしょうか？

119

777

717

171

110

回答して参考情報をチェック

災害用伝言ダイヤルの  
番号について

正答率78.2%

## 正答率の低い設問

千曲市の防災

Q9

「津波てんでんこ」の意味として正しいものをすべて選択してください。（複数選択可）

自分の命は自分で守る

誰かの言うことに従う

まわりの人のことも考える

相互信頼が重要

避難を促してもうまく行かない事がある

回答して参考情報をチェック

津波てんでんこの意味  
への理解

正答率10.3%

千曲市の防災

Q10

現代（1～3段）・奈良・東西・東・神奈川・打沢・小島・新堂・新田・新田・中・小島山の【おおむね】100年に1回程度発生する降雨に対応する浸水想定】への浸水リスクとして当てはまるものをすべて選んでください。（複数選択可）

最大浸水深さ5m以上の区域がある

最大浸水深さ2m以上の区域が多い

最大浸水深さ0.5m以上の区域が多い

土砂災害特別警戒の区域がある

浸水警戒、土砂災害警戒区域の対象外

回答して参考情報をチェック

ハザードマップ  
への理解

正答率12.6%

千曲市の防災

Q4

あなたは、ペットと暮らしています。大きな地震のため避難所に避難しなければなりません。しかし、ペット（犬）がいます。一緒に犬を避難所に連れて行っていいでしょうか？

ペットは禁止

ペットは連れて行く

ペットは連れて行くが避難から帰還することが難しい

ペットは基本禁止、だが事前登録で許可されることもある

回答して参考情報をチェック

ペットの避難所への  
同伴について

正答率43.7%

# 設問テーマ-千曲市の防災

## 参加者からのコメントに、広報やメールで回答すると、参加者との信頼が高まる

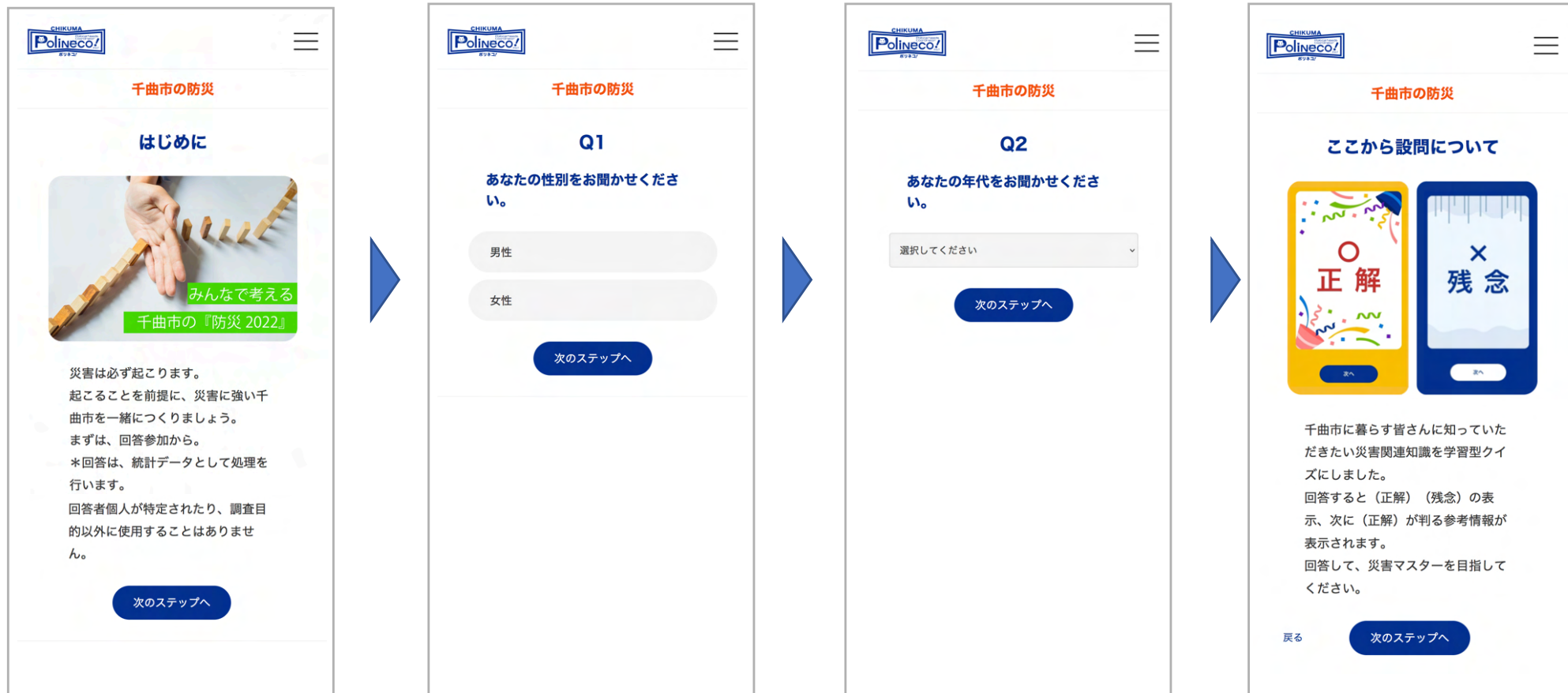
### 参加者からのコメント

- ・ いつもありがとうございます。東日本台風の際は、市役所の皆さんの避難所対応が大変ありがたかったです。
- ・ スピーカーから流れる防災情報が聞き取りにくいことがある。ほかに手段はないか検討すべき。
- ・ 災害の種類によって避難の方法が違うことの周知を。
- ・ 浸水して行きたい場所に行けない時はどうしたらいいでしょうか？
- ・ 日頃から防災などの情報を発信してほしい
- ・ 被災したら、現状把握しようとHPやSNSを確認しようとすると思う。アクセス集中すると繋がらないと思うから複数の媒体で情報更新をお願いします。分からない事は現地の情報提供をしたい時、何処に報告した方が良いですか？普通にTwitterで#つけて投稿してれば良いですか？
- ・ 避難所内はコロナ感染予防がどこまでできるか不安
- ・ 防災時、建設業その他役立てる連絡体制と予算を含めた機動体制を確保して欲しい。



# 設問テーマ-千曲市の防災

設問の流れは以下の通り（スマートフォンの画面で表示）



# 設問テーマ-千曲市の防災

各設問に参考情報が付き、正解、残念（不正解）に関わらず知り、学ぶことができる。



# 設問テーマ-千曲市の防災

正答率85.1%

正答率78.2%



# 設問テーマ-千曲市の防災

CHIKUMA Polineco!

千曲市の防災

Q7

では、この災害用伝言ダイヤル171を利用できるのは、どのような時でしょうか？

災害時のみ

災害時と毎月1回の練習日

災害時と毎月2回の練習日とお正月と防災週間

回答して参考情報をチェック

Q7 参考情報

毎月1日,15日  
正月三が日  
防災週間  
(8月30日9:00~9月5日17:00)  
防災とボランティア週間  
(1月15日9:00~1月21日17:00)

171を練習する機会が頻繁に設けられています。

遊び感覚でも試してみるといざという時に安心です。

次のステップへ

CHIKUMA Polineco!

千曲市の防災

Q8

東日本大震災以降、災害への心構えとして広まった、「津波てんでんこ」という言葉の「てんでんこ」とは、どのような意味でしょうか？

どんどん

それぞれ、各自で

あっちこっち

むちゃくちゃ、ひっくり返る

回答して参考情報をチェック

Q8 参考情報

てんでんこ

↓

それぞれ各自で

「てんでんこ」とは、  
"それぞれ、各自で"  
という意味です。

次のステップへ

正答率69.0%

正答率71.3%

# 設問テーマ-千曲市の防災

CHIKUMA  
Polineco!

千曲市の防災

Q9

「津波てんでんこ」の意味として正しいものをすべて選択してください。(複数選択可)

自分の命は自分で守る

誰かの言うことに従う

まわりの人のことも考える

相互信頼が重要

最善を尽くしてもうまく行かないことがある

回答して参考情報をチェック

Q9 参考情報

- ・自分の命は自分で守る
- ・他者避難の促進
- ・相互信頼の事前醸成
- ・生存者の自責感の低減

「津波てんでんこ」の最も重要なことは、その場その場で、自分の頭で考えることです。重要な4つの要素は上記のようにまとめられています。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!

千曲市の防災

Q10

屋代(1-3区)・森東・森西・寂蒔・鑄物師屋・打沢・小島・桜堂・杭瀬下・新田・中・小船山の【おおむね100年に1回程度発生する降雨に対応する浸水想定】への災害リスクとして当てはまるものをすべて選んでください。(複数選択可)

最大浸水深さ5m以上の区域がある

最大浸水深さ2m以上の区域が最も多い

最大浸水深さ0.5m以上の区域が最も多い

土砂災害特別警戒の区域がある

浸水警戒、土砂災害警戒区域の対象外

回答して参考情報をチェック

正答率10.3%

正答率12.6%

Q10 参考情報 (1/2)

千曲市の防災エリアA～F

屋代(1-3区)・森東・森西・寂蒔・鑄物師屋・打沢・小島・桜堂・杭瀬下・新田・中・小船山は、千曲市全体の中で、【C】エリアとして指定されています。  
【C】エリアの計画降雨【おおむね100年に1回程度発生する降雨に対応する浸水想定】(平成26年3月作成)は、ハザードマップで、(つづく→)

次のステップへ

Q10 参考情報 (2/2)

防災エリアC  
ハザードマップ

下図のように表されています。  
ほとんどの区域が、  
・最大浸水深さ2m以上のリスク  
・一部には最大浸水5mのリスク  
・山に近い区域には土砂災害リスクがあります。  
こちらから→ハザードマップを確認できます。(千曲市のページが新規タブで開きます。)

戻る

次のステップへ

# 設問テーマ-千曲市の防災

CHIKUMA Polineco

千曲市の防災

Q11

災害発生時、あなたがお住いや場所の安全確保が困難になった際の避難場所の考え方として、間違っているものは、次のどれでしょうか？

避難先を決めていない、知らないこと

知人、親戚の家

最寄りの避難所

ホテル（安全な場所にある）

上記以外の決めている場所があること

回答して参考情報をチェック

Q11 参考情報

避難場所は、普段から決めておき、だれかと共有することが重要です。

避難所だけが、避難場所ではありません。災害リスクのない安全な場所に移動できれば、そこが、あなたの避難所になります。

次のステップへ

CHIKUMA Polineco

千曲市の防災

Q12

災害発生時の考え方として、間違ったものを、1つ選んでください。

防災訓練の通り行動する

想定にとらわれず考える

どんな場合も最善を尽くす

自分の頭で考える

回答して参考情報をチェック

Q12 参考情報

災害は、人間の都合に合わせてくれません。「常に、自分の頭で考えること。」が求められます。

訓練でやったことのすべてが正解にならないのが自然災害です。この大前提から、防災訓練など習慣や先入観にとらわれると判断を誤る場合があります。

次のステップへ

正答率89.7%

正答率50.6%

# 設問テーマ-千曲市の防災

正答率スコアからおさらい（再回答）することが可能。  
ここからの3問では、回答者の考えを尋ねる。

CHIKUMA  
Polineco!

千曲市の防災

ここまでの正答率スコア

90  
Level

概要文

テーマ「千曲市の防災2022」へのあなたの理解度は、レベル 90 です。  
(レベルの最高値は100です。)

次の設問からは正解のない、あなたのお考えを回答していただく設問です。

次のステップへ

おさらい（再回答）をする

CHIKUMA  
Polineco!

千曲市の防災

ここからの3問について

ここからの3問では、  
あなたのお考えをお答えください。  
回答に応じて、考えの「タイプ」を  
判定表示します。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!

千曲市の防災

Q13

あなたは、千曲市における 防災と  
災害への対応は、市役所と住民  
が、どのような関わりで 行うこと  
が最も望ましいと、考えますか？

☐ 千曲市役所が主体となって行う
 ☐ 千曲市役所と住民と一緒に協働して行う
 ☐ 住民が主体となって行う
 ☐ 上記以外の方法で行う

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco!

千曲市の防災

Q14

あなたは、千曲市役所と住民が 一  
緒に協働して行う、防災と災害 へ  
の対応に、サポーターとして 参加  
しますか？このような回答参加も  
サポーターとしての参加です。

☐ サポーターとして参加する
 ☐ サポーターとして参加しない

戻る

次のステップへ

# 設問テーマ-千曲市の防災

Q13,14に基づき、考えタイプを表示。解説テキストも表示し、その場でフィードバックを行う。

CHIKUMA Polineco? 千曲市

千曲市の防災

Q15

防災や災害対応に関する心配ことや、判らないこと、市役所に伝えたいこと等があればお聞かせください。回答いただくだけでも、千曲市の防災を サポートすることに繋がっています。（※特にない場合は、そのまま次のタイプ判定画面に進めます。）

戻る

タイプ判定画面へ

CHIKUMA Polineco? 千曲市

千曲市の防災

あなたの考え(タイプ)は…

type-E  
スーパー  
防災マスター

90

コメントを書く

設問テーマに関して市役所に伝えたいことなど、お気軽にお送りいただけます。

コメントを書く

ご自身のタイプについて、そして、千曲市へのご意見、提案がありましたらお聞かせください。

※いただいたコメントは事務局にて集計し、他の回答者の方々にも記事やタイプごとの意見を紹介するブログ「ポリネコ-CHIKUMA」で匿名で共有されます。

コメントを送る

★ ポジティブ面からの解説

千曲市役所と住民が連携する最も理想的な防災対応を、あなたも参加して実現しようとする考え方です。  
市役所は全体の計画をつくり実行することが得意ですが、一人ひとりの事情や地域の細かい情報を把握はどちらかというと苦手です。一方、住民は全体の計画はできませんが、自分やまわりの事情をよく知っていますし、地域の細かい事情も知っています。この両者が連携することで、大きな災害があっても綿密かつ力強い防災対応を普段から構築することができます。

ネガティブ面からの解説

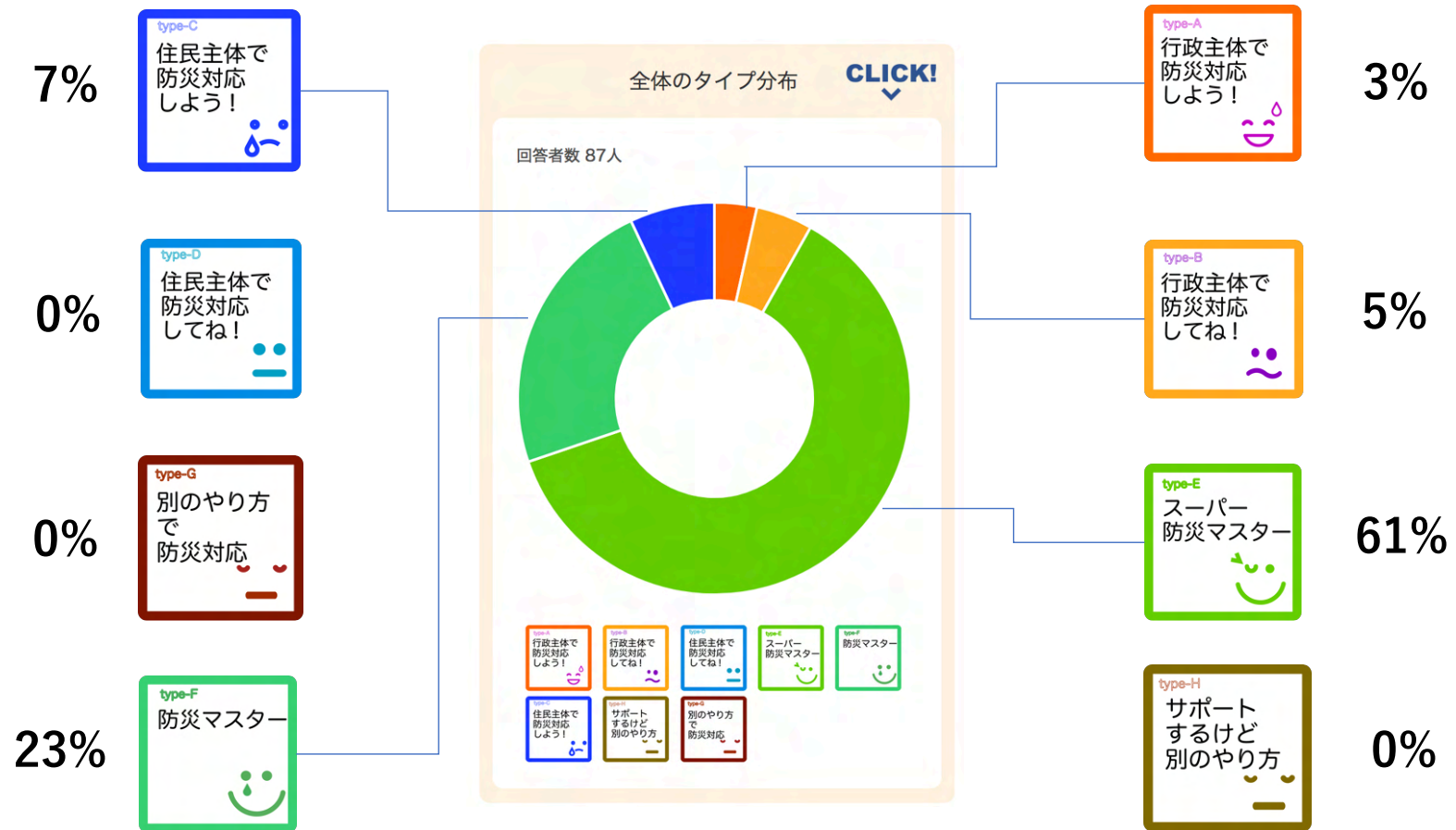
回答状況を俯瞰する

←おさらい（再回答）をする



# 設問テーマ-千曲市の防災

84%が、行政と市民が協働して防災にあたるべきと考えている。  
タイプごとに追加設問を行えるが、今回は実施しなかった。



# 設問テーマ-千曲市消防団

## 消防団の见えない課題があることが浮かび上がった調査となった



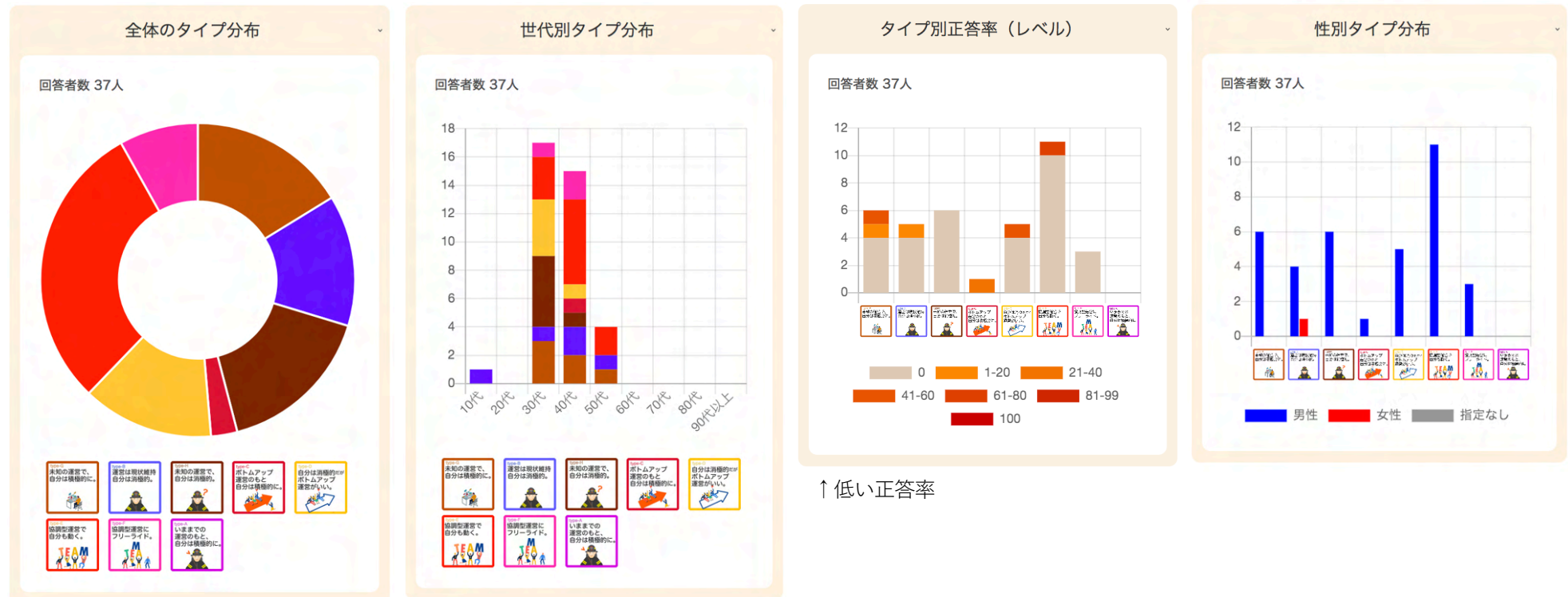
### 回答36件 学習型輿論調査として運用

メール登録は137名であるにも関わらず、回答者は37名に留まった。正解のある前半の回答群の正答率は極めて低く、団員が消防団に関わる諸情報を十分に理解していない状況、あるいは、設問を読まずに回答した可能性も考えられる。

一方、自由記述コメントには切実な状況、問題点を指摘するものが多く、団員と向き合う必要性が浮かび上がっている。

今回の回答を通じて、意欲的な団員の存在も確認されており課題解決に向けた取り組み（追加調査、インタビュー調査）など行う基礎を見いだせた。

消防団への向き合い方  
分散傾向にある\



# 設問テーマ-千曲市消防団

消防団員の関連事項への認知が一定水準にあることを想定して設問開発をおこなったが、回答の低い正答率から、設問レベルの調整を今後行う必要が明らかになった。

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

消防団アンケート\_第1回

はじめに

この設問テーマは、千曲市消防団の方のみ回答参加していただけます。

設問は、A・Bの2パートで構成されています。  
前半のAパートは正解がある設問、後半のBパートは正解がない設問です。

お答えいただくことで消防団への理解を高めていただきながら、これからの千曲市消防団に向けた意思を示していただけます。

\*回答は、統計データとして処理を行います。  
回答者個人が特定されたり、調査目的以外に使用することはありません。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

消防団アンケート\_第1回

Q1

消防団の方々への案内メールにある「合言葉」を入力してください。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

消防団アンケート\_第1回

Q2

千曲市消防団の現在の団員平均年齢は何歳でしょうか？

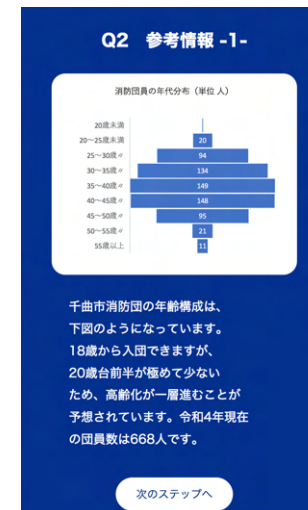
29歳

38歳

47歳

51歳

回答して参考情報をチェック





# 設問テーマ-千曲市消防団

CHIKUMA  
Polineco  
千曲市

消防団アンケート\_第1回

Q3

千曲市消防団の現在の充足率（定員に対する実際の団員数）は現在、何%でしょうか？

約57%

約62%

約80%

約88%

回答して参考情報をチェック

Q3 参考情報 -1-

80.2%

千曲市消防団の充足率は、令和2年の時点で、88.8%でした。しかし、この2年で充足率は低下しています。コロナ禍等の影響も考えられますが対応が必要です。

次のステップへ



CHIKUMA  
Polineco  
千曲市

消防団アンケート\_第1回

Q4

HUG（避難所運営ゲーム）について、正しい内容のものを選んでください。

勝負を楽しめる

愛知県危機管理課が開発

一人でもできる

時間制限がある

回答して参考情報をチェック



Q4 参考情報 -1-

〈HUGゲームで使うカード〉

1156 災害番号 [31]

東海543 [東海23期]

千曲市

金員さん

[8/20歳] 年頃

男の子、身長170cm、体重60kg、髪は黒、目は黒い、歯は白い。

カードの一例

HUG（避難所運営ゲーム）は、参加者に配られる避難者のカードを、どれだけ適切に配置できるか、発生する出来事にどう対応するかを疑似体験する静岡県危機管理局が開発したゲームです。  
(続く→)

次のステップへ

Q4 参考情報 -2-

〈標準的なHUGゲームの流れ〉

オリエンテーション (30分)

↓

ゲーム実施 (60分)

↓

感想・意見交換 (30分)

1グループ7人以下でのプレイが推奨されています。  
勝ち負けではなく、グループ内での意見の相違や他のグループの考えを知ること、避難所運営の経験値を高める効果が期待されています。

戻る

次のステップへ

# 設問テーマ-千曲市消防団

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

三

消防団アンケート\_第1回

## Q5

DIG (Disaster Image Game) について、正しい内容のものをすべて選んでください。  
(※複数選択可能)

大きな地図を使う

ビニールシートを使う

DIGとは、災害図上訓練の意味

地域にDIG参加経験者が多い方がよい

DIGのまとめは非公開とすべきである

回答して参考情報をチェック

### Q5 参考情報 -1-

〈DIGを行う様子〉



DIG (災害図上訓練) は、自衛隊での演習手法をもとに開発された災害訓練の手法です。図のように大きな地図の上に、ビニールシートを置き、想定される被害とその対処を、討論しながら導き出します。問題を可視化することに適した(続く→)

次のステップへ

### Q5 参考情報 -2-

〈標準的なゲームの流れ〉

```

グループ分け (5分)
↓
雰囲気作り (10分)
↓
参加者の立場の明確化
被害想定の説明 (15分)
↓
地図への書き込み (60-150分)
↓
グループ討論
↓
発表・講評
  
```

手法ですが、さまざまな立場の人がゲームを通じて問題を共有することで、地域ごとの事情を踏まえた問題解決を具体的にを行う共通認識が醸成されます。

戻る 次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

三

消防団アンケート\_第1回

## Q6

令和4年4月から改訂された、千曲市消防団員の報酬金額(年2回の振込みの合計)は、いくらと設定されているでしょうか？

17,100円

36,500円

73,000円

138,500円

回答して参考情報をチェック



### Q6 参考情報 -1-

36,500円を  
9月と3月に  
団員の個人口座に

令和4年4月から、金額と支給方法が改訂されました。団員の報酬金額は、下記のように設定され、これまで分団口座への入金、団員ひとりひとりの口座への入金となっています。

次のステップへ

# 設問テーマ-千曲市消防団

消防団アンケート\_第1回

**Q7**

消防団活動に協力する会社を認定する「消防団協力事業所表示制度」に認定されている千曲市内の事業所は何社あるでしょうか？\*

\*ちなみに、千曲市には約2800の事業所があります。

14社

67社

510社

1600社

回答して参考情報をチェック

**Q7 参考情報 -1-**

〈認定証〉




消防団協力事業所表示制度は、消防団員の多くが会社員であり、消防団活動の推進には、事業所（企業）の理解と協力が、不可欠であることから生まれました。認定は書類審査によって行われ、認定後、認定証を交付します。（続く→）

次のステップへ

**Q7 参考情報 -2-**



千曲市内の認定事業所は、

**14社**

また、優遇メニューとして応援減税や入札条件の優遇などの制度が用意されています。千曲市には下記の数の事業所が、認定されています。今後、より多くの事業所（企業）に協力いただくと、千曲市の地域防災力が高まります。

戻る

次のステップへ

消防団アンケート\_第1回

**Q8**

千曲市内に消火栓は、いくつ設置されているでしょうか？

632基


1463基

2472基

7329基

回答して参考情報をチェック

**Q8 参考情報 -1-**



**1463基**

\*令和2年度時点

千曲市内には、上記の基数の消火栓が設置されています。住宅地が増えるなど、市内の暮らし方の変化に応じて、消火栓の設置基数は変化しています。（続く→）

次のステップへ

**Q8 参考情報 -2-**




千曲市の防災マップで消火栓の位置を具体的に確認することができます。防災マップは、「千曲市防災ガイドブック」で確認できます。このガイドブックは、ニュースブログでも紹介しています。

戻る

次のステップへ

# 設問テーマ-千曲市消防団

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

三

消防団アンケート\_第1回

Q9

災害発生時、消防団員としてのあなたは、何を最優先に考えて行動すべきでしょうか？

消防団活動

地域の災害対応

自分自身

家族・親戚

回答して参考情報をチェック

Q9 参考情報 -1-

災害時の優先順位  
ランキング

1.自分  
2.家族  
3.地域（近所）  
4.消防団

（自助>共助>公助）という考え方と同じで、災害発生時に最優先すべきは自分自身です。自分自身の安全確保の上で、家族>地域の災害対応>そして、最後に消防団活動となります。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

三

消防団アンケート\_第1回

Q10

消防団員としての活動の中で、万が一、怪我を負ったり医療処置が必要な状況に陥ってしまった場合、補償はどのように設定されているでしょうか？以下のうち正しいものを全て、選んでください。（※複数選択可能）

団員の自己責任である

怪我は公務災害扱いとなる

公務災害による休業を補償する制度がある

家族を対象とする補償がある

回答して参考情報をチェック

Q10 参考情報 -1-

怪我をした場合の医療費は？

自己負担 0円

行政=千曲市が後精算で対応します。そのため、公務災害で診療時をうける場合は病院で、自分の保険証は出す必要がありません。

消防団員は非常勤特別職の地方公務員となります。そのため消防団活動における負傷、疾病などに関しては、公務災害補償が用意されています。たとえば、怪我をした場合、（続く→）

次のステップへ

Q10 参考情報 -2-

補償制度の一部

・消防団員等公務災害補償等  
共済基金  
・日本消防協会による福祉共済  
制度及び千曲市消防団に係る  
損害補償の支給などに関する  
規則

医療費は千曲市の負担となるので、自分の保険証を出す必要はありません。

また、怪我以外に対応する補償制度も用意されています。

戻る

次のステップへ

# 設問テーマ-千曲市消防団

CHIKUMA  
Polineco  
POLINECO

消防団アンケート\_第1回

Q11

自主防災組織（地域住民による任意の防災組織）と消防団との関係について正しい内容は、どれでしょうか？下記の選択肢から選んでください。

特に関係はない

消防団は自主防災組織の指導と助言を行う

自主防災組織の要請に応じ支援を行う

自主防災組織は消防団に出動要請できる

回答して参考情報をチェック

Q11 参考情報 -1-

・平常時  
消防団等による様々なアドバイス  
(防災に対する知識・技術の向上)

・大規模災害時  
自主防災組織と消防団等が相互に連携した消防・救助活動の展開  
災害情報の収集

総務省消防庁資料より

消防団と各地域の自主防災組織の関係は、上記のように＜平常時＞と＜災害時＞に分けて明示されています。

日頃からの交流と連携が地域の防災対応力をつくります。

次のステップへ



CHIKUMA  
Polineco  
POLINECO

消防団アンケート\_第1回

Q12

消防団の、火事などの災害現場での指揮権限について、下記の選択肢の中から、間違っているものを全て選んでください。

消防署の要請を受け出動

現場先着の場合は、独自判断で活動して良い

消防団は消防署の指揮で動く

独自の判断で出動することが推奨されている

回答して参考情報をチェック

Q12 参考情報 -1-

指揮権限の要点

①消防署→消防団への出動要請で出動

②もしも、消防団が消防署より先に到着の場合は、「消防署との確認事項」に従った活動を行います。

基本的に、消防団は消防署の出動要請のもとで出動し、その指揮下で活動します。

消防署よりも先に、現地に到着した場合、予め用意された確認事項に基づき活動します。

日頃からの消防署との連携が重要です。

これで正解のある設問は終了です。次に進むと、レベル（正答率）が表示されます。

次のステップへ





# 設問テーマ-千曲市消防団



# 設問テーマ-千曲市消防団

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

消防団アンケート\_第1回

Q16


あなたは、いままでに消防団サポートショップを利用したことがありますか？

はい

いいえ

次のステップへ

Q16 参考情報 -1-



サポートショップ証

概要文  
上記はサポートショップのマークです。  
消防団サポートショップは、消防団員とその家族の方が、団員証を提示することで、さまざまな特典やサービスを受けられる制度です。  
で、さまざまな特典やサービスを受けられる制度です。  
千曲市内には（18）のサポートショップがあります。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

消防団アンケート\_第1回

Q17

あなたが、いままでに、利用した消防団サポートショップを教えてください。  
\*利用したことがない場合は、そのまま次に進めます。

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

消防団アンケート\_第1回

Q18

あなたにとって、消防団に入って良かったと思えること、思えたことはありますか？

ある

ない

次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ



消防団アンケート\_第1回

Q19

（\*良かったことが「ある」とお答えの場合のみ、この設問にお答えください）消防団に入って良かったと思えること、思えたことを、具体的にお聞かせください。\*特になければ、次に進めます。

次のステップへ

# 設問テーマ-千曲市消防団

消防団アンケート\_第1回



**Q20**

あなたが消防団に入って、「困ったこと」、「困ったな」と思えたことはありますか？

ある

ない

次のステップへ






消防団アンケート\_第1回

**Q21**

(※困ったことが「ある」とお答えの場合のみお答えください)  
消防団に入って「困ったこと」、「困ったな」と思えたことを、具体的にお聞かせください。\*特になければ、次に進めます。

次のステップへ

消防団アンケート\_第1回

**Q22**

千曲市の消防団は定数834人に対して669人（この内女性団員が18人）と、婦人消防隊383人で構成されています。課題は、団員の不足と若手の比率低下です。これからの千曲市消防団の拡充についてどうあるべきか？あなたのお考えをお答えください。

消防団の定数確保を男女制限なく図るべき

機能別消防団のみで拡充を図るべき

消防団と機能別消防団両方で拡充を図るべき

上記以外のアプローチ

次のステップへ

**Q22 参考情報 -1-**

女性消防団員の推移



・総務省消防庁HPより

婦人消防隊の存在意義は、男性とは異なる視点、地域と女性の暮らしをつなぐ接点としての機能など、大変大きいものです。全国では女性団員の数は増加傾向にあります。(続く→)

戻る

次のステップへ

**Q22 参考情報 -2-**

女性分団



大規模災害のみ活動する分団



バイク分団



・総務省消防庁HPより

また、機能別消防団員制度という制度があります。広報や大規模災害限定、バイクやドローンといった特定の条件で活動を行うことで、基本となる消防団よりも参加の関口を拡げる制度です。(続く→)

戻る

次のステップへ

**Q22 参考情報 -3-**

千曲市消防団の充足率

実際の団員数 669人  
定数 834人

$=80.2\%$

千曲市の条例では千曲市消防団の定員は、834人とされています。しかし、現在の団員数は669名と定数に対して、165名不足の状態です。また団員の約半数が35歳から45歳と、高齢化も懸念されています。従来の発想にとらわれない消防団の在り方、拡充の方法が必要かもしれません。選択肢の〈上記以外のアプローチ〉を選択の場合は、この先の意見投稿フォームから、ご意見をお聞かせください。

戻る

次のステップへ



# 設問テーマ-千曲市消防団

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

三

消防団アンケート\_第1回

## Q23

あなたは、これからの千曲市消防団の運営の形は、どのようになれば良いと考えますか？

現在のままで良い

幹部が団員の意見に耳を傾ける運営が望ましい


幹部が団員の意見に耳を傾け、団員も研修等に積極的に参加する協調的な運営が望ましい

上記以外のアプローチ

次のステップへ

### Q23 参考情報 -1-

指示型組織  
成果は個人の責任と引き換え




成長する組織の基本は、組織に関わる人々がお互いに協力できる環境をつくることです。  
トップが強すぎても、団員の個々の意見が強すぎても、組織運営は（続く）

戻る 次のステップへ

### Q23 参考情報 -2-

協調型組織  
成果は個人間の責任と引き換え



→問題が生じます。  
新しいメンバーが入りやすく、活動が活発になる組織の形は、協調型組織です。  
そのためには、ひとりひとりの参画が大切です。

戻る 次のステップへ

CHIKUMA  
Polineco  
ポリネコ

三

消防団アンケート\_第1回

## Q24

あなたは、今後、千曲市消防団や地域防災に関わることにについて、オンラインでの研修や、スキル・能力向上、課題解決等に機会があれば、参加したいと思いますか？


参加したいと思う

参加したいと思わない

次のステップへ

### Q24 参考情報 -1-

スキルを共有する  
オンラインで学ぶ  
意見を示す



コロナ禍によって対面型の研修が難しくなっていますが、現在は、オンライン研修や、スマホやPCで学ぶ方法も増えています。  
また、防災士、危険物取扱者などの資格取得に関わる優遇制度もあり、団員の積極的な参画を応援する環境づくりが進められています。  
また、この画面から意見や提案を送ることも「参加」です。

戻る 次のステップへ

# 設問テーマ-千曲市消防団

分団によってはゼロ回答の分団もあり、団によって温度差があることが推察される。  
副分団長の回答も極めて少ない。

消防団アンケート\_第1回

Q25

あなたが、今後、消防団に関する  
ことで、学びたいことや、千曲市  
の消防、防災、婦人消防隊や機能  
別消防分団等への提案や意見があ  
れば、下記にご記入ください。  
(※特にない場合は、そのまま次  
のタイプ判定画面に進めます。)

タイプ判定画面へ

type-E  
協調型運営で  
自分も動く。

72

コメントを書く

設問テーマに関して市役所に伝えたいことなど、  
ご意見をお送りいただけます。

ポジティブ面からの解説

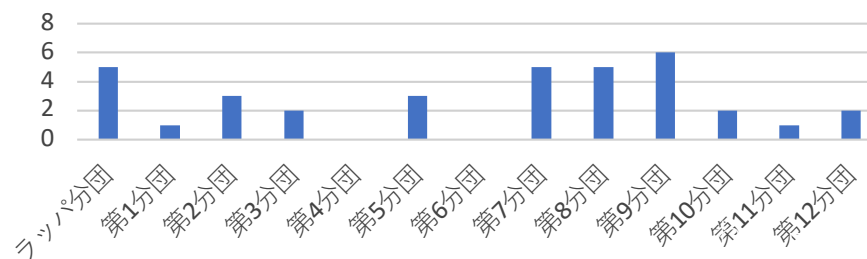
消防団が団員の意見をより取り入れ、団員は  
積極的に活動するという、お互いの協調的な  
運営の中で、自分自身も積極的に活動するこ  
うお考えです。

ネガティブ面からの解説

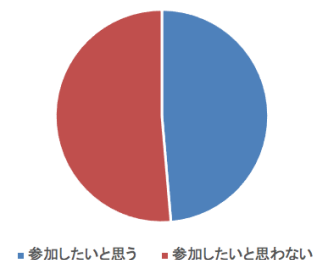
回答状況を俯瞰する

←おさらい(再回答)をする

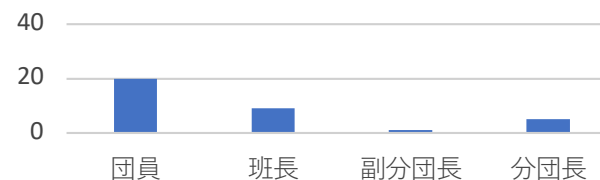
各分団参加人数



オンラインでの研修や、スキル・能力向上、課題解決等に  
機会があれば参加したいと思いますか？



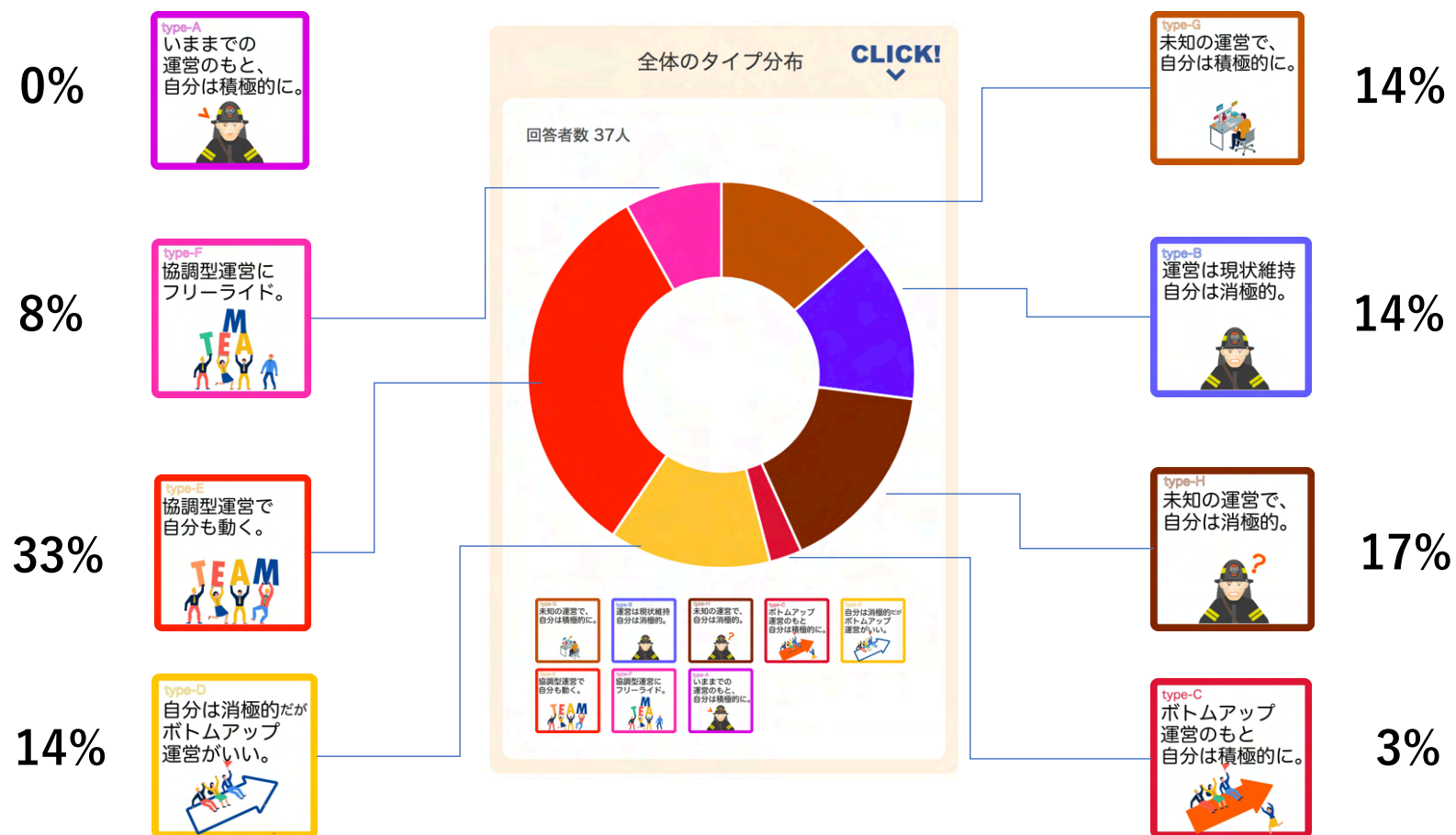
職掌別の回答傾向



# 設問テーマ-千曲市消防団

回答タイプは分散傾向にある。

但し、現状の運営に積極的に参加するとの回答はゼロであった。



# 設問テーマ-千曲市消防団

少ない回答数にも関わらず、多くのコメントが寄せられた。  
多くは現状の運営における問題、課題の指摘である。

- ・いつ辞められるか見通しが見つからない。
- ・ポンプ操法の訓練などで私生活の時間を割かねばならないこと。
- ・やめれない
- ・一部の地域住民の方が消防団に対するイメージが悪かったり、悪態をつかれることがある。
- ・活動日が多く、家庭との両立が厳しい。
- ・勧誘に行って、入ってもらえず、近所で気不味くなった。
- ・行事や訓練で自分の時間が奪われてしまう。
- ・時代遅れの風習があること。例)放送設備があるのに打鐘、メールで事足りるのに年末警戒初日の招集、大して意味のない出初式、無駄に服装を揃えさせての行事参加など。過疎、イメージ悪化による新入団員の確保難。会社が消防団に対してのサポートをしない（活動時は早退や有給を使うしかない）
- ・出勤した方が良いと思われる事案とプライベートの用事が重なったとき
- ・消防の活動で家族と過ごす時間が減った
- ・新規団員の確保が難しい
- ・操法の練習など朝早いので仕事に支障をきたす
- ・入団の勧誘に行っても、勧誘先の本人やその家族の理解が得られない。仕事を理由にして断わる（38歳）
- ・婦人消防隊への連絡

# 設問テーマ-千曲市消防団

・消防団員として関係の無い温泉夏祭りの出動を要請された事。会費を払って慰労会に参加してがこちらからお金を払い警備に着くことに違和感を感じとても困った。

・火災と同等の頻度で水害等の出動が増えています。水害（災害）誘導のトレーニングなどが必要と思います。ただし、トータルの拘束時間が増えない範囲で。

・活動に全く参加されない団員もいる。報酬の調整をして欲しい。無駄な経費の削減にもつながるのでは。活動のモチベーションにもつながる。

・自衛消防団との統合の検討

・女性消防隊創設婦人消防隊廃止福利厚生の実施（互助会みたいな感じ）

・消防団員の活動と関係の無い温泉夏祭り警戒は今後やめて欲しい。辞めないとするならばその理由を知りたい。年末警戒が忘年会や飲み会のような形になっているのでコロナ禍の現在のように警戒のみとし分団全体で行うと飲み会のような忘年会になるので班ごとの警戒にし本来の警戒としてのあるべき姿に戻すべきと考える。  
それができないのであれば年末の忙しい時期にわざわざ形だけの年末警戒は行うべきでは無いと思う

・水害が多いのでボートでの救出方法や山が有るのでチェーンソーの使用法などを習得したい

・婦人消防隊の廃止

・婦人消防隊の廃止

・婦人消防隊は廃止してもいいのでは？

・大会があるおかげで新入団員の確保が困難になっています。大会は参加したい分団のみでいいと思います。

・婦人消防隊と日赤奉仕団のすみわけ消防団員への税制優遇

・防災士の資格取得



# 設問テーマ-千曲市消防団

- ・前の設問で機能別消防団という用語をさも当然のように使い始めているが千曲市消防団において聞いたこともない用語です。まず意味がわかりません。消防団の種類を細分化するかなのような考えが前の設問にありましたが、分かれるほどそれぞれでの人材確保が難しくなる気がします。

人が足りないのなら一本化するべきでは？そもそも消防団の存在意義は本当にあるのでしょうか。婦人消防は他の活動団体と内容が被っており必要性を感じないという声もあるのでゼロベースで一旦必要性を見直すべきだと思います。

消防団を無くして全戸へ火災報知器の無料配布をするとか、最新の初心者でも使いやすい消火設備を市内に充実させるとかのやり方もあるはずです。体制を変えるのが面倒だから現状維持で無理矢理消防団を存続させるとするのは限界が見えて来てると思います。給料を出してる会社だって人手不足が深刻です。古臭いやり方を続けさせられるボランティアで、検索すれば負の情報ばかり出てくる消防団に参加したがる人は多くないでしょう。やり方を大きく変えないと消防団は先細りする一方だと思います。

- ・有事の際に行動ができるように、日頃の訓練はもちろんのこと、地域の仲間と意思疎通ができていることも重要だと思います。

# 設問テーマ-少子化アンケート

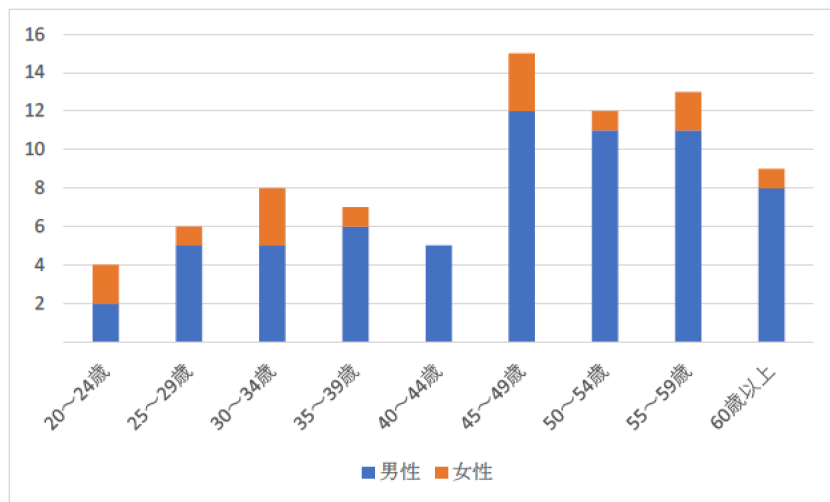


## 回答82件 市役所内の職員を対象にしたアンケート調査として運用

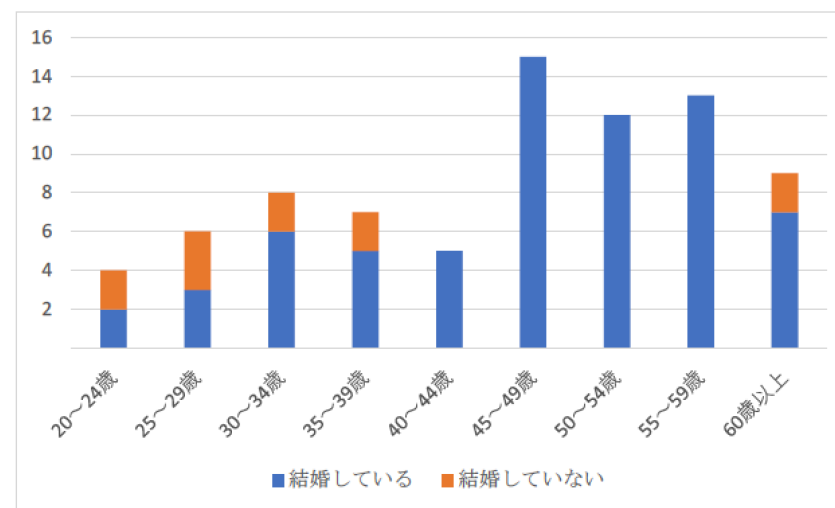
回答率は16.7%、市職員478人を対象とした調査として回答率が低いと思われる。  
回答からは、結婚したいという意向を持っていても、相手がいない状況などが確認された。  
(これは全国対象の調査とも一致している)  
少子化対策は、その時限りの”点”の調査よりも、継続的な”線”(追跡調査)が有効であるため、UIターンを促進する意向調査などと連携した取り組みが求められると言える。  
また、回答率の低さから、市役所内を対象に『ポリネコ! CHIKUMA』の認知と理解の向上を行うアプローチが必要であることも確認された。

少子化対策に向けたアンケートとして全てのライフステージに向けた設問を1つにまとめてしまったため、設問が冗長となってしまったことは改善点である。  
既婚、未婚を分けた設問設計を行うだけで回答負荷を低減することができるので、次年度以降の対応に反映する。


回答者の年代及び男女比



回答者の年代及び既婚、未婚比率




# 設問テーマ-少子化アンケート



少子化対策意識調査\_1

はじめに




千曲市  
少子化対策に向けた  
意識調査

イラストを受け取った方のみの限定調査です。  
2022  
Image by Freepress

この調査は、人口減少が深刻化する中、出生数及び転入者数の増加を目指すため、皆さまに結婚から妊娠・出産、子育てに至るまでの各ライフステージ及び家屋取得などにおいての意識や実態についてお伺いすることで、実情を把握しより効果的な施策の検討資料として活用することを目的として実施するものです。  
回答は、統計データとして処理を行います。  
回答者個人が特定されたり、調査目的以外に使用することはありませ  
ん。  
お忙しい中、大変恐れ入りますが、千曲市の人口減少に歯止めをかけるためにも、ぜひアンケート調査にご協力いただけますようお願いいたします。

令和4年12月

次のステップへ




少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q1

案内にあった含言葉を入力してください。

戻る 次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022


Q2

性別をお聞かせください。

男性

女性

戻る 次のステップへ




少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q3

年代をお答えください。

20歳未満

戻る 次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q4


出身地をお聞かせください。

千曲市

県内他市町村

県外

戻る 次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q5

千曲市在住の方にうかがいます。  
千曲市に住むことになったきっかけを お聞かせください。  
(※千曲市在住でない方は「★市外在住」を選択してください)

★市外在住

もともと在住している

結婚を機に

就職を機に

進学を機に

その他

戻る 次のステップへ

# 設問テーマ-少子化アンケート

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q6**

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的ななきっかけをご記入ください。  
(※該当しない方は、次の設問へ)

戻る 次のステップへ

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

ここからの3問について、

千曲市に居住する理由について、「最も」「次に」「その次」と三段階でお尋ねします。  
(※千曲市在住でない方は「★千曲市在住ではない」を選択してください)

戻る 次のステップへ

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q7**

千曲市在住の方にうかがいます。  
千曲市に在住することにした理由で、「最も（1番）」当てはまるものを1つお答えください。  
(※千曲市在住でない方は「★千曲市在住ではない」を選択してください)

★千曲市在住ではない

戻る 次のステップへ

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q8**

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的ななきっかけをご記入ください。  
(※該当しない方は、次の設問へ)

戻る 次のステップへ

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q9**

千曲市在住の方にうかがいます。  
千曲市に在住することにした理由で「次（2番目）」当てはまるものを1つお答えください。  
(※千曲市在住でない方は「★千曲市在住ではない」を選択してください)

★千曲市在住ではない

戻る 次のステップへ

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q10**

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的ななきっかけをご記入ください。  
(※該当しない方は、次の設問へ)

戻る 次のステップへ

# 設問テーマ-少子化アンケート

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q11

千曲市在住の方にうかがいます。  
千曲市に在住することにした理由で「その次（3番目）」当てはまるものを1つお答えください。  
（※千曲市在住でない方は「★千曲市在住ではない」を選択してください）

★千曲市在住ではない

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q12

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的なきっかけをご記入ください。  
（※該当しない方は、次の設問へ）

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q13

千曲市在住の方にうかがいます。  
住宅を取得する際に、千曲市とどの地域を比較検討しましたか？  
（複数選択可）  
（※千曲市在住でない方は「★千曲市在住ではない」を選択してください）

★千曲市在住ではない

持ち家ではない

比較した地域はない

長野市（篠ノ井）

長野市（松代）

長野市（その他）

坂城町

上田市

その他

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q14

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的なきっかけをご記入ください。  
（※該当しない方は、次の設問へ）

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q15

千曲市在住の方にうかがいます。  
千曲市のマンション、アパート探して苦労した点を教えてください。（複数選択可）  
（※千曲市在住でない方は「★千曲市在住ではない」を選択してください）

★千曲市在住ではない

マンション・アパート住まいではない

希望する間取りの物件がなかった、少なかった

希望する家賃の物件がなかった、少なかった

希望する条件（ペット可、オートロック等）の物件がなかった、少なかった

特にない

その他

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q16

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的に苦労した点をご記入ください。  
（※該当しない方は、次の設問へ）

戻る 次のステップへ



# 設問テーマ-少子化アンケート



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

### Q17

千曲市在住の方にうかがいます。  
今後も千曲市に住み続けたいと思  
っていますか？  
(※千曲市在住でない方は「★千  
曲市在住ではない」を選択してく  
ださい)

★千曲市在住ではない

住み続けたい

住み続けてもいい

あまり住み続けたくない

住み続けたくない

どちらとも言えない

戻る

次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

### ここからの3問について

千曲市外に居住する理由について、  
「最も」「次に」「その次」と  
三段階でお尋ねします。  
(※千曲市在住でない方は「★千曲  
市在住ではない」を選択してくださ  
い)

戻る

次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

### Q18

千曲市外在住の方にうかがいま  
す。  
千曲市外に在住することにした理  
由で「最も(1番)」当てはまる  
ものを1つお答えください。  
(※千曲市在住の方は「★千曲市  
在住」を選択してください)

★千曲市在住

戻る

次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

### Q19

前の設問で、【その他】とお答え  
の方は、具体的な内容をご記入く  
ださい。  
(※該当しない方は、次の設問  
へ)

戻る

次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

### Q20

千曲市外在住の方にうかがいま  
す。  
千曲市外に在住することにした理  
由で「次(2番目)」当てはま  
るものを1つお答えください。  
(※千曲市在住の方は「★千曲市  
在住」を選択してください)

★千曲市在住

戻る

次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

### Q21

前の設問で、【その他】とお答え  
の方は、具体的な内容をご記入く  
ださい。  
(※該当しない方は、次の設問  
へ)

戻る

次のステップへ

# 設問テーマ-少子化アンケート

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q22

千曲市外在住の方にうかがいます。  
千曲市外に在住することにした理由で「その次（3番目）」に当てはまるものを1つお答えください。  
（※千曲市在住の方は「★千曲市在住」を選択してください）

★千曲市在住

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q23

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的な内容をご記入ください。  
（※該当しない方は、次の設問へ）

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q24

千曲市外在住の方にうかがいます。  
今後、千曲市内に引っ越したいと考えていますか？  
（※千曲市在住の方は「★千曲市在住」を選択してください）

★千曲市在住

思う

やや思う

あまり思わない

思わない

どちらとも言えない

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q25

現在、結婚されていますか？

結婚している

結婚していない

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q26

結婚されている方にうかがいます。  
配偶者の方と出会ったきっかけは、以下のどれに当てはまりますか？  
（※ご結婚されていない場合は、「★該当しない」を選択してください）

★該当しない（結婚していない）

友人などからの紹介

職場・バイト先

婚活パーティーやイベント

お見合い

マッチングアプリ

インターネット/SNS

学校

その他

戻る 次のステップへ

Polineco

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

Q27

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的な出会ったきっかけを差し障りのない範囲でご記入ください。  
（※該当しない方は、次の設問へ）

戻る 次のステップへ

# 設問テーマ-少子化アンケート

Polineco! 少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q28**

結婚されている方にうかがいます。  
配偶者の方のお勤め先の場所をお聞かせください。  
(※結婚されていない場合は、「★該当しない」を選択してください)

★該当しない

千曲市

長野市

上田市

坂城町

その他長野県内

長野県外

戻る 次のステップへ

Polineco! 少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q29**

子育て経験のある女性の方にうかがいます。  
配偶者の方はどれくらい育児に関わっているか(いましたか)お聞かせください。  
(※配偶者がいない(いなかった)方、男性の方は「★該当しない」を選択してください)

★該当しない

よく関わっている(いた)

関わっているが(いたが)、もっと関わってほしい(ほしかった)

あまり関わっていない(いなかった)

全くかかわっていない(いなかった)

戻る 次のステップへ

Polineco! 少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q30**

現在、独身の方にうかがいます。  
今後、結婚(再婚も含め)したいとお考えですか?  
(※該当しない場合は「★該当しない」を選択してください)

★該当しない(結婚している)

結婚したい

できれば結婚したい

あまり結婚したいと思わない

結婚したくない

特に意識はしていない

戻る 次のステップへ

Polineco! 少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q31**

独身の方で、現在お付き合いされている相手がいる方にうかがいます。  
相手の方と出会ったきっかけは、以下のどれに当てはまりますか?  
(※結婚されている方、または、現在相手がいない方は「★該当しない」を選択してください)

★該当しない

友人などからの紹介

職場・バイト先

婚活パーティーやイベント

お見合い

マッチングアプリ

インターネット/SNS

学校

その他

戻る 次のステップへ

Polineco! 少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**ここからの3問について**

理想の人数の子どもを持たない、持てない理由について、「最も」「次に」「次の次」と三段階でお尋ねします。  
(※未婚の方は「該当しない」を選択してください)

戻る 次のステップへ

Polineco! 少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q36**

既婚の方にうかがいます。  
理想の人数の子どもを、持たない、持てない理由に「最も(1番)」当てはまるものを1つお選びください。  
(※未婚の方は「★該当しない」を選択してください)

★該当しない

戻る 次のステップへ

# 設問テーマ-少子化アンケート

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q37**

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的な理由をご記入ください。  
(※該当しない方は、次の設問へ)

戻る [次のステップへ](#)

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q38**

既婚の方にうかがいます。  
理想の人数の子どもを、持たない、持てない理由に「次に(2番目に)」当てはまるものを1つお選びください。  
(※未婚の方は「★該当しない」を選択してください)

★該当しない

戻る [次のステップへ](#)

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q39**

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的な理由をご記入ください。  
(※該当しない方は、次の設問へ)

戻る [次のステップへ](#)

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q40**

子どもがいる方にうかがいます。  
理想の人数の子どもを、持たない、持てない理由に「その次(3番目に)」当てはまるものを1つお選びください。  
(※未婚の方は「該当しない」を選択してください)

★該当しない

戻る [次のステップへ](#)

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q41**

前の設問で、【その他】とお答えの方は、具体的な理由をご記入ください。  
(※該当しない方は、次の設問へ)

戻る [次のステップへ](#)

少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q42**

ご結婚されている方にうかがいます。  
身近にいるあなたや配偶者の親等から家事、育児の支援は得られますか？または、得られましたか？  
(※ご結婚されていない場合は、「★該当しない」を選択してください)

★該当しない

身近にいて得られる(得られた)

身近にいるが得られない(得られなかった)


身近にいない

親などがいない

戻る [次のステップへ](#)

- ✓ ★該当しない
- 理想どおりであり問題はない
  - 子育てにお金がかかるため
  - 収入が低い
  - 自分が望まないため
  - 現状でも家事・育児が手いっぱい
  - 自分の仕事に差し障りがあるため
  - 配偶者の仕事に差し障りがあるため
  - 自分の勤務先の理解がないため
  - 配偶者の勤務先の理解がないため
  - 心理的、肉体的負担のため
  - 高齢出産になるため
  - 健康上の理由があるため
  - 子どもがのびのび育つ社会環境ではないため
  - 配偶者が望まないため
  - 定年退職までに子に成人して欲しいため
  - 住居の狭さのため
  - 配偶者の出産、育児への協力が期待できないため
  - 親等からの支援が得られないため
  - 自分や夫婦の時間を大切にしたいため
  - 2番目はない
  - その他

# 設問テーマ-少子化アンケート



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q43**

結婚されている方にうかがいます。  
身近にいるあなたや配偶者の親等の方々のうち、一番近い方は、あなたのお住い（住居）から、どの程度の 距離の場所にお住まいですか？  
（＊ご結婚されていない場合は、「★該当しない」を選択してください）

★該当しない

親等はいない

同居、隣居

車で5分以内

車で10分以内

車で20分以内


車で30分以内

車で1時間以内

車で1時間超

戻る

次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

**Q44**

千曲市の出生率向上に、男性の育児休暇取得率を 上げることは、有効だと 思いますか？

そう思う

やや、そう思う

あまり、そう思わない

そう思わない

戻る

次のステップへ



少子化対策意識調査\_限定版\_2022

ご協力いただき ありがとうございます。  
ございました。


  
 ご回答いただき  
ありがとうございます！

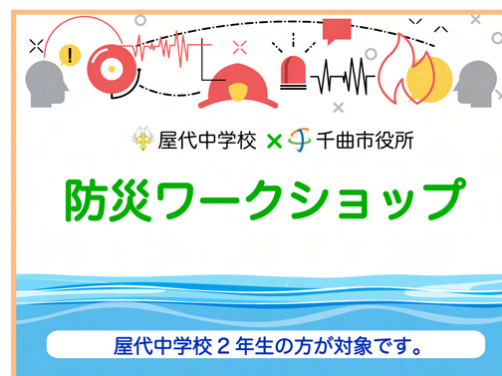
調査にご回答いただき  
ありがとうございました！  
集計結果は近日公開の  
『ポリネコト-CHIKUMAブログ』でも  
紹介します。  
今後も千曲市が、より子育てしやすい  
環境になるようお力添えください。  
よろしくお願い申し上げます。

戻る

回答を保存する



# 設問テーマ-屋代中学WS-ワークショップ

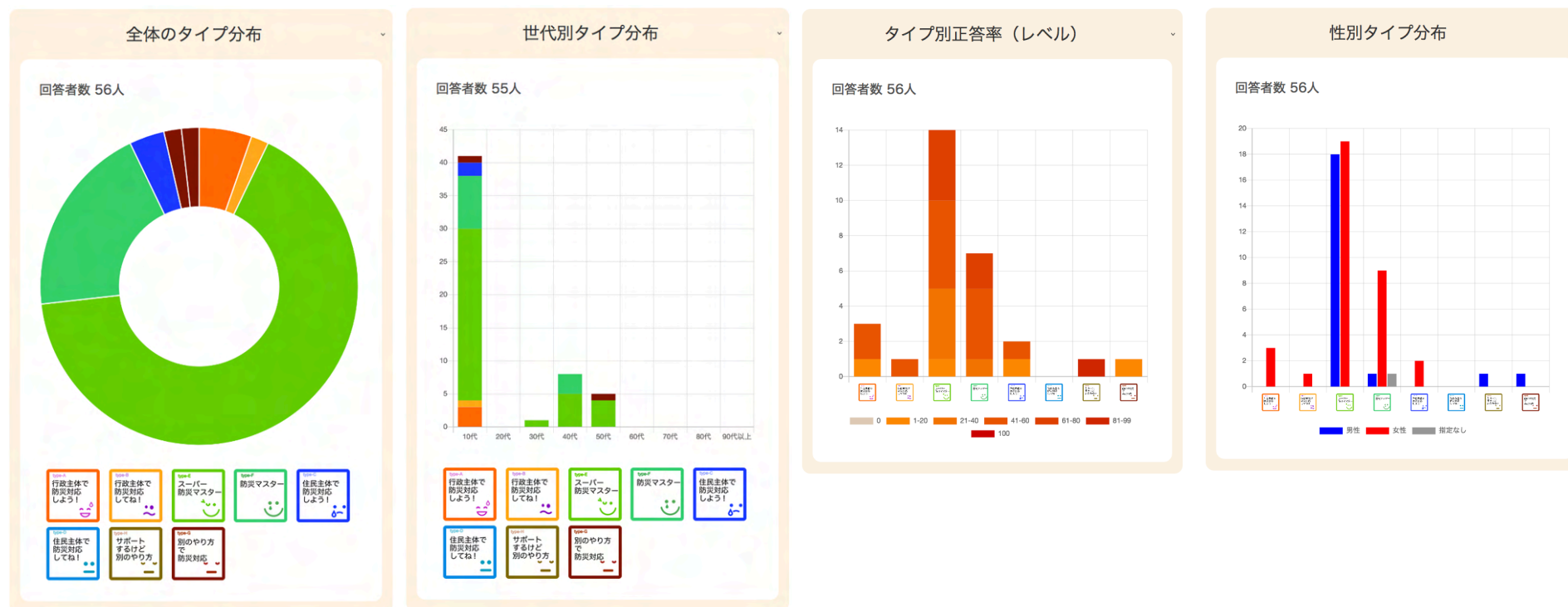


屋代中学校2年生を対象に、ワークショップを実施。事前に『ポリネコ！CHIKUMA』への回答を案内し、回答結果を見ながら、各クラスにて授業形式で振り返りつつ理解を高めるアプローチを行った。

・学校の立地場所の災害リスクへの正答率が2%・津波てんでんこへの理解への正答率13%、と低く、今後の広報活動での改善点となることが明らかになった。

また、ワークショップ後にアンケートに行い、『ポリネコ！CHIKUMA』とワークショップへの評価を収集した。約9割（88%）が今回のワークショップが防災意識の向上の役立ったと回答、またこれからの社会に『ポリネコ！CHIKUMA』が必要だと思いますか？という問にも約9割（91%）が必要だと思うと回答。

『ポリネコ！CHIKUMA』とワークショップの組み合わせの有効性を確認することができた。



# 設問テーマ-屋代中学WS-ワークショップ

テーマ「防災」と比較すると、共通する傾向と異なる傾向が明確に存在することが判る。  
自宅以外の学校の防災リスク認識については注目すべきである。

## 正答率の高い設問

千曲市の防災

Q11

災害発生時、あなたがお住まいや場所の安全確保が困難になった際の避難場所の考え方として、間違っているものは、次のどれでしょうか？

避難先を決めていない、知らないこと

知人、親戚の家

最寄りの避難所

ホテル（安全な場所にある）

上記以外の決めている場所があること

回答して参考情報をチェック

避難場所の考え方  
への理解

正答率89.7%

千曲市の防災

Q5

あなたは、避難所の運営担当者です。その避難所に600人が避難しています。しかし、避難所に届いたおにぎりは、400人分だけです。このおにぎりは配るべきと思いますか？

配るべきではない

配るべき

工夫して配るべき

回答して参考情報をチェック

避難所での食料分配  
についての理解

正答率85.1%

千曲市の防災

Q6

災害用伝言ダイヤルは、災害発生時に基本無料で使える伝言録音と共有の仕組みです。お互いの電話番号を知ってれば、30秒のメッセージを最大20件送れます。災害用伝言ダイヤルの番号は、以下のどれでしょうか？

119

777

717

171

110

回答して参考情報をチェック

災害用伝言ダイヤル  
の番号について  
正答率78.2%

## 正答率の低い設問

屋代中学校ワークショップ

Q12

屋代中学校（千曲市屋代810番）の災害リスクとして正しいものを選んでください。

屋代中学校には災害リスクがない

最大で5m～10mの浸水が想定されている

最大で0.5m～1mの浸水が想定されている

土砂災害の警戒区域になっている

回答して参考情報をチェック

学校所在地の災害リスク  
への理解

正答率 2%

屋代中学校ワークショップ

Q11

屋代中学校は千曲市屋代810番に立地しています。屋代を含む千曲市の防災マップ【A】（屋代地区、南宮、土呂、生野・金野地区）の【おおよそ100年に1回程度発生する降雨に対応する浸水想定】への災害リスクとして当てはまるものをすべて選んでください。（複数選択可）

最大浸水深5m以上の区域がある

北陸新幹線の沿線は浸水想定区域である

最大浸水深30cm未満の区域が最も多い

土砂災害特別警戒区域の区域がある

浸水警戒、土砂災害警戒区域の対象外

回答して参考情報をチェック

ハザードマップ  
への理解

正答率 9%

屋代中学校ワークショップ

Q10

「津波てんでんこ」の意味として正しいものをすべて選択してください。（複数選択可）

自分の命は自分で守る

誰かの言うことに従う

まわりの人のことも考える

防災避難が重要

避難を早くしてうまく行かない事がある

回答して参考情報をチェック

津波てんでんこの意味

正答率 13%

## 設問テーマ-屋代中学WS-ワークショップ

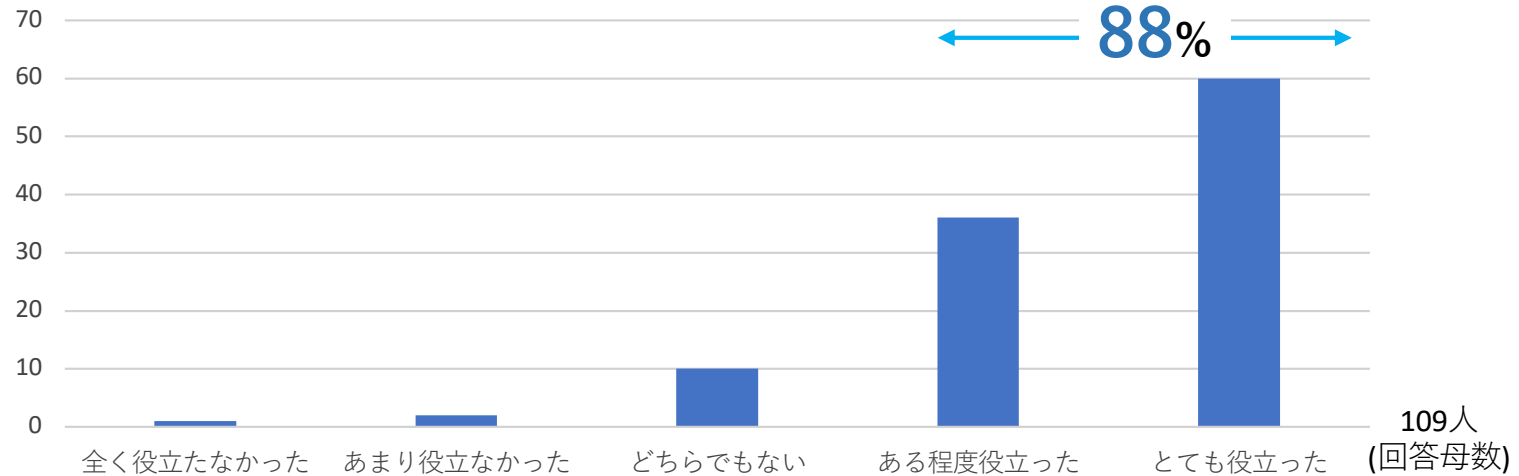
4クラスそれぞれに危機管理課の職員が対応し、授業形式で動画（千曲川決壊ニュース番組）の放映、設問の解説を行った。GIGAスクール端末があるため、端末から回答できればより良かったが、GIGAスクール端末からメールは使えない設定であるため、今回は実現しなかった。次年度以降の課題となっている。



# 設問テーマ-屋代中学WS-ワークショップ

## ワークショップについて高評価が得られた

Q1 今回の防災に関するWS（ワークショップ）は、あなたの防災意識の向上に役立ちましたか？



私の家はあまり台風19号のときは被害はなくて災害は自分にとって遠いものだと思っていたので今回の話で、もっと災害のことを考えて準備しておきたいと思ったからです。

ポリネコで正解率が低かったものについて、詳しく教えてもらったり、ハザードマップの見方なども知ることができたから。また、実際の災害の動画を見て、災害はとても怖いものだと思えて感じ、普段からの備えが大切だと感じたから。

私は、家にペットがいるので、実際に避難する際の注意や用意についてこれからしっかりと考えていきたいと思ったからです。

犬と一緒に避難していいとはじめてしまったから。

問題形式でやったので楽しく学べたから。

避難訓練どおりに動けば安全と思っていたけど、そうではないってことが分かったし、ハザードマップだけを信じるんじゃなくて、他のSNSやホームページの情報も組み合わせて避難しなきゃいけない事がわかったから。

ワークショップの補足情報などでより詳しく、防災について知ることができたから。

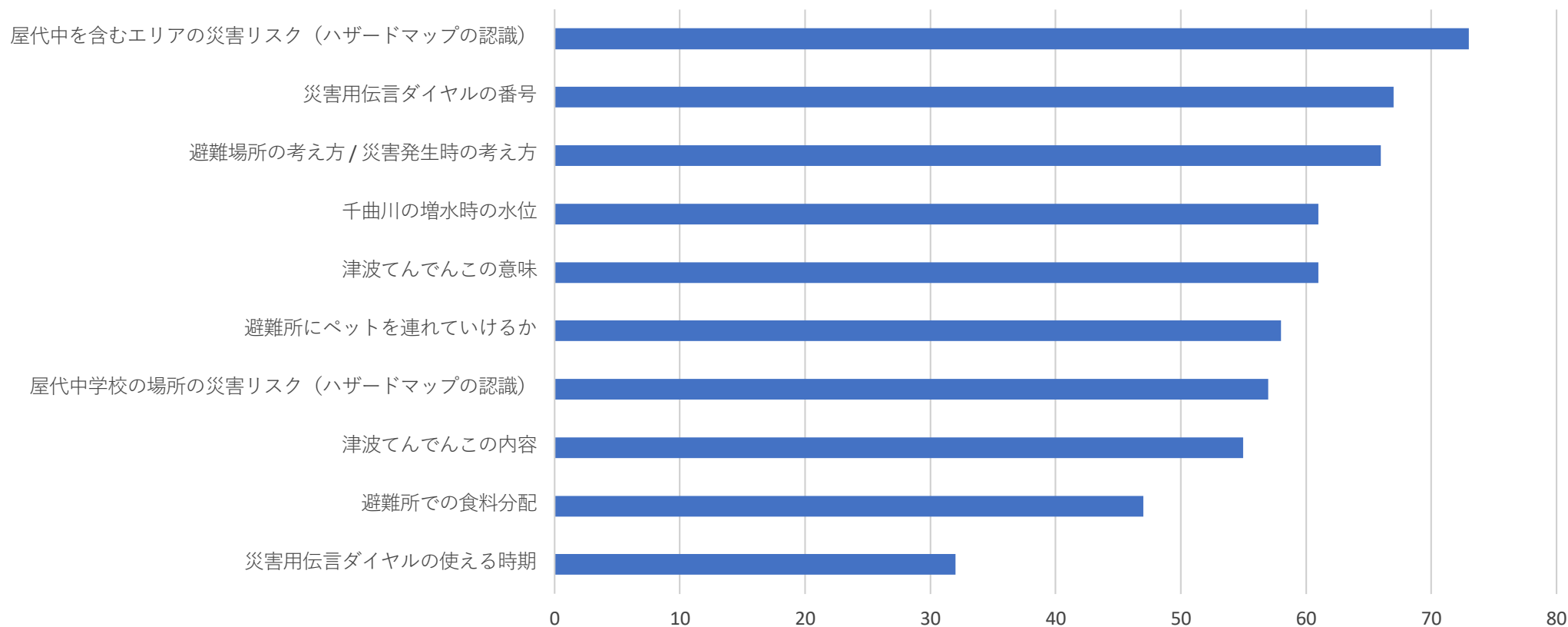


# 設問テーマ-屋代中学WS-ワークショップ

ハザードマップの認識、災害用ダイヤルなど  
多くの設問が勉強になったと評価された。

Q2 設問の中で、特に役立った情報、勉強になった情報はどれですか？（複数回答可）

109人  
(回答母数)

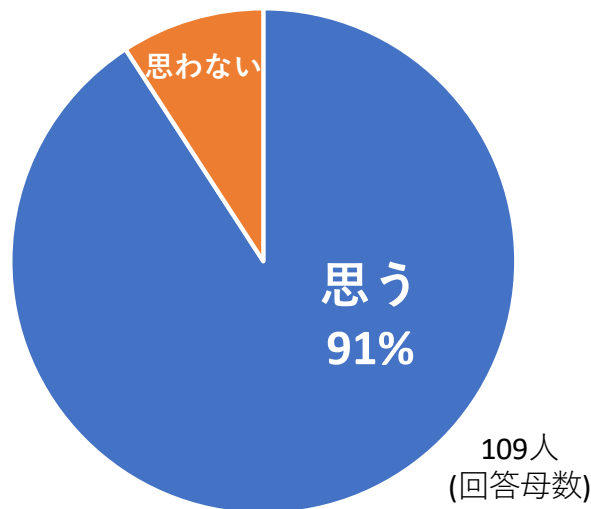




# 設問テーマ-屋代中学WS-ワークショップ

『ポリネコ！CHIKUMA』についても高評価を得られた。

Q3 スマホやパソコンで学習しながらアンケートに答えて回答状況も確認できるシステム『ポリネコ！CHIKUMA』は、これからのDX（デジタル・トランスフォーメーション）、デジタル社会に必要なだと思いましたか？



アンケートに答えることによって、市にも役に立つし、自分たちにも役に立つから。

災害について学んだりすることはあるけれど、うろ覚えだったり、すぐに忘れてしまうことがあるし、スマホやパソコンなら紙じゃないぶん、答えるのが楽だから。

学習しながらできるのでいいと思ったから。

もっと地域の人からの意見を集め生かしていったほうが市の取り組みもより活発になると思うから。

行政と市民の災害における信頼関係を築く事で防災が起きそうなことを知ることが両者ともできるから。

自分がどれくらい災害のことについて知っているかがわかったり、知らなかったことを知ることができるから。

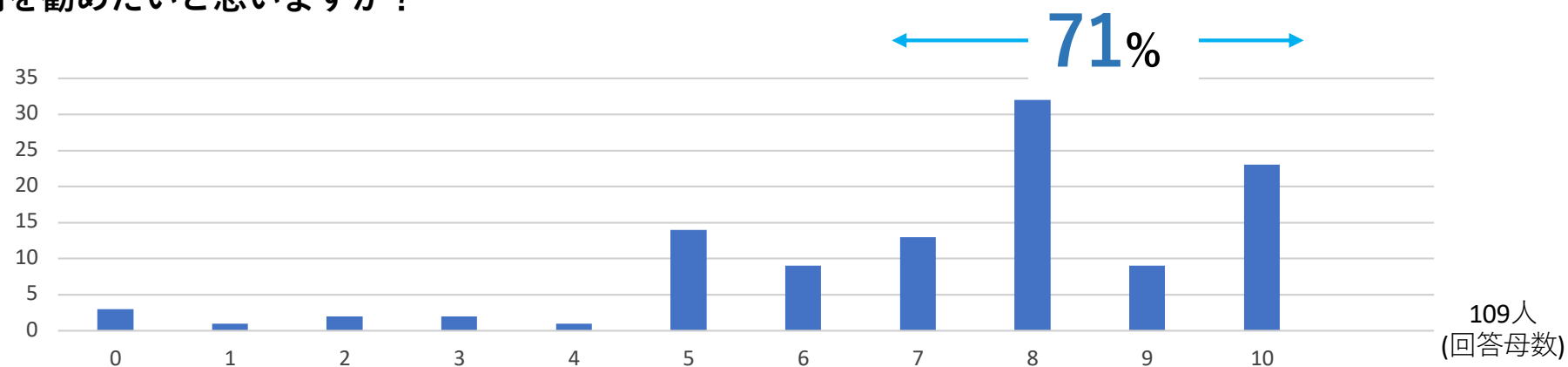
地域の避難訓練に参加しないぶん、ここで学習ができるから。

スマホひとつででき、誰でも参加できる点から良いと思いました。

# 設問テーマ-屋代中学WS-ワークショップ

『ポリネコ！CHIKUMA』をまわりの人に勧める傾向も高い結果となった。

Q4 家族や友人などまわりの人たちに、今回の防災に関するオンライン設問（『ポリネコ！CHIKUMA』）の利用を勧めたいと思いますか？



間違えた問題の解説も載っていてわかりやすかったし、将来、ためになると思ったからです。

防災がわからない人にとって、ポリネコのようなクイズ形式はとても勉強になり、今後の知識として役に立つからです。

親も知っていたら、震災が起きたときにすぐに行動できると思う。

自分は大丈夫と思っていても、実際は正しい知識がなかったり、いざというときに行動できなかったりする事が減るようにしたいからです。

簡単にできるし、時間がかからない上に自分がどのタイプなのかわかるのも、防災への意識向上になるのいいと思ったから。

僕は家族と一緒にポリネコをやったけど家族の人にもわかっていないことがあったから。

もっと色々な方に知っていただきたいから。（考えて欲しい、触れて欲しい）

千曲市の情報を知る人が多くなれば、実際に起きたときにより素早い行動をすることができると思うから。

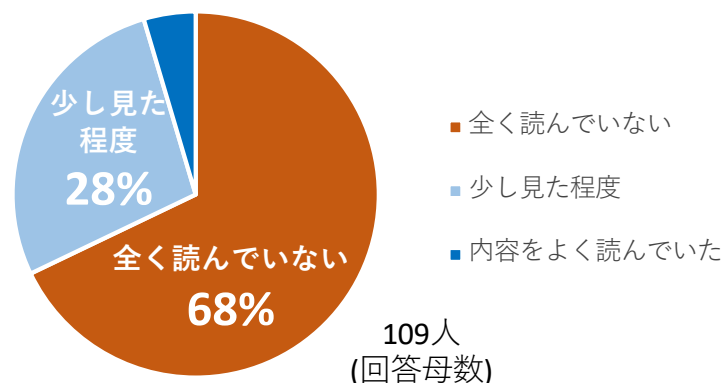
普通のアンケートと違ってためになったから。

家族や知り合いと集合場所を共有しておいて、何かあったときにそれを使いたいから。

# 設問テーマ-屋代中学WS-ワークショップ

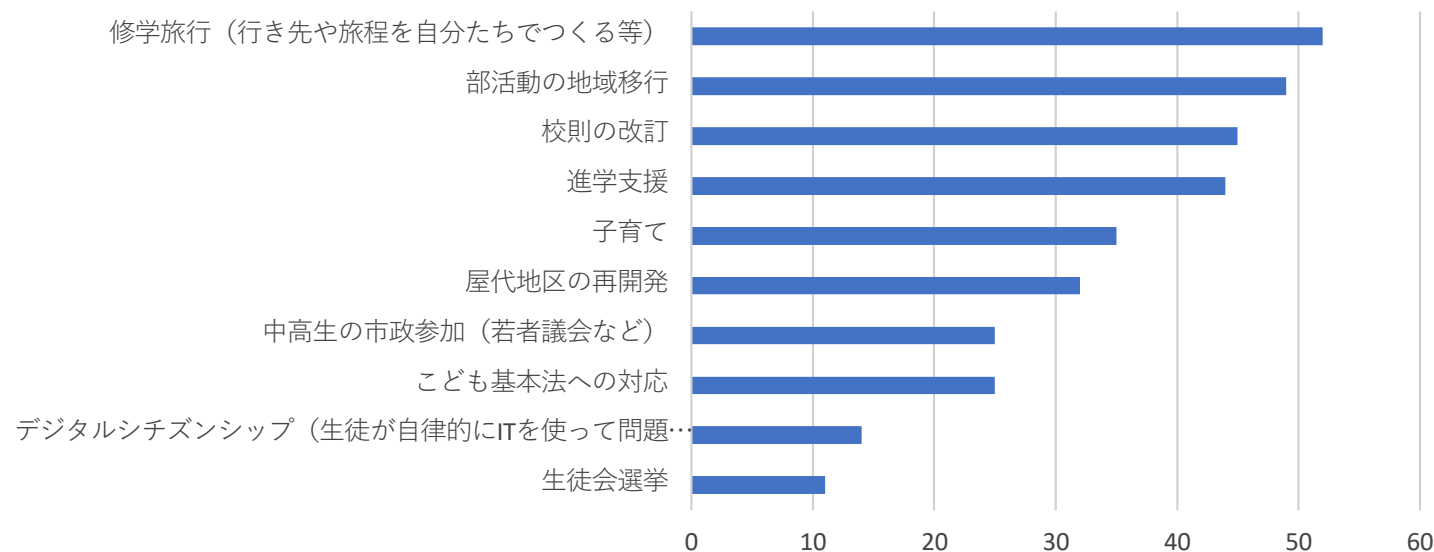
## 広報誌が中学生に届いていない状況が確認された

Q4 『市報 ちくま10月号（2022年）』では、『ポリネコ！CHIKUMA』を特集して紹介しました。  
この市報を読みましたか？



学校での配布などによって、  
中学生が市政を知るきっかけを  
増やすことができる。

Q5 今後、あなたの暮らしや千曲市に関わることで、『ポリネCHIKUMA』で取り上げたら良いと思うテーマ  
(地域やあなたにとっての課題)はありますか？(複数回答可)

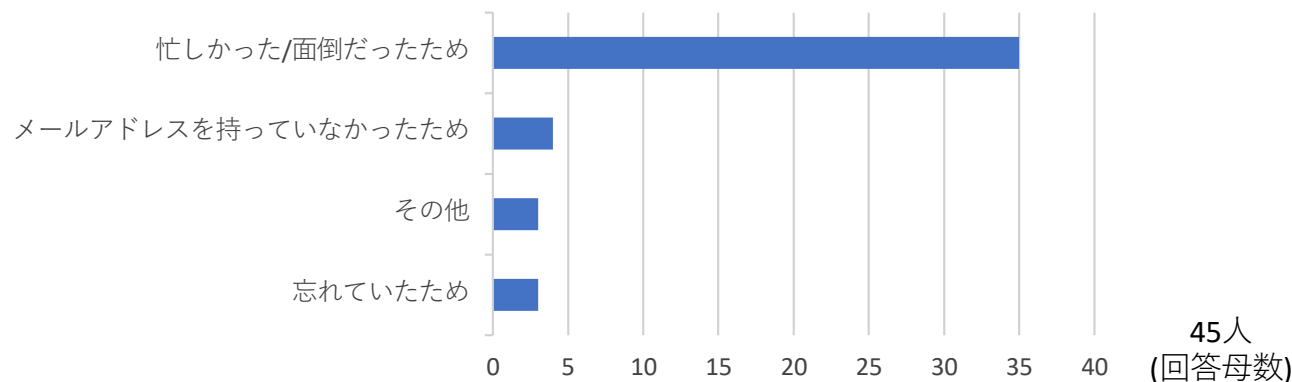


自分たちの学びの環境を  
自分たちでより良くしたい  
意向が高いことが確認された。

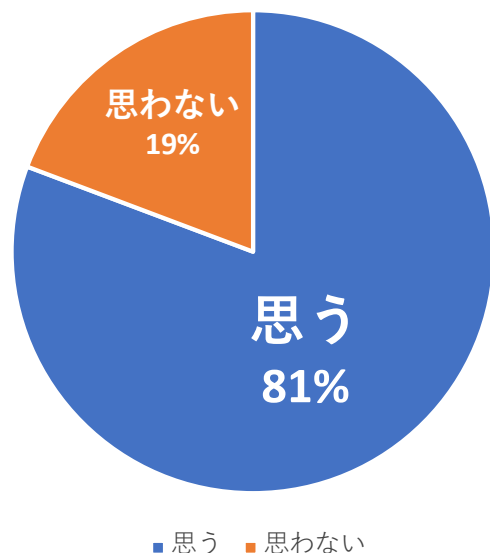
# 設問テーマ-屋代中学WS-ワークショップ

## 『ポリネコ!CHIKUMA』への参加意向の高さが確認できた

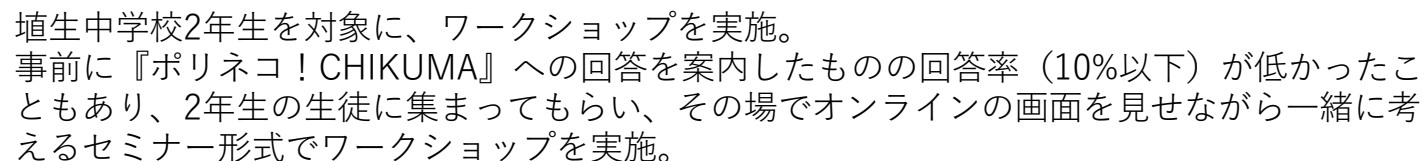
Q6 (今回の、防災学習より以前に『ポリネコ!CHIKUMA』に回答しなかった方のみにお尋ねします。)  
今回、防災学習より以前の期間に回答しなかった理由を教えてください。



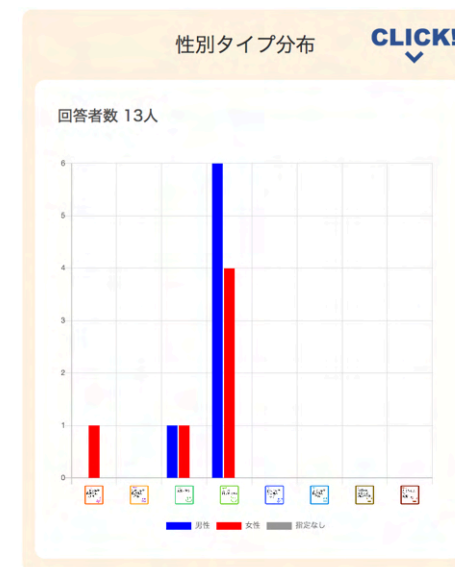
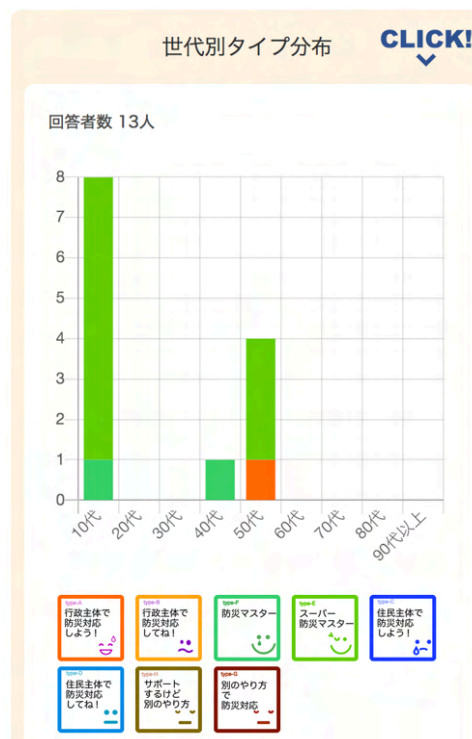
Q7 今回の学習、ワークショップを受けて、次回機会があったら『ポリネコ!CHIKUMA』に参加(または参加登録)してみようと思いましたか？



参加意向は高いものの、  
回答どおりに参加登録は増えていないので、  
中学生に向けたアプローチを途切れないように  
行うことが有効と考えられる。



屋代中学校と同様に、ワークショップ後にアンケートに行った結果からは、『ポリネコ！CHIKUMA』への高い評価、防災への積極的な反応を得ることができている。但し、回答率は事前回答と同様に低く（20%強）、学校毎の温度差を埋めるアプローチが今後、必要であることが確認された。

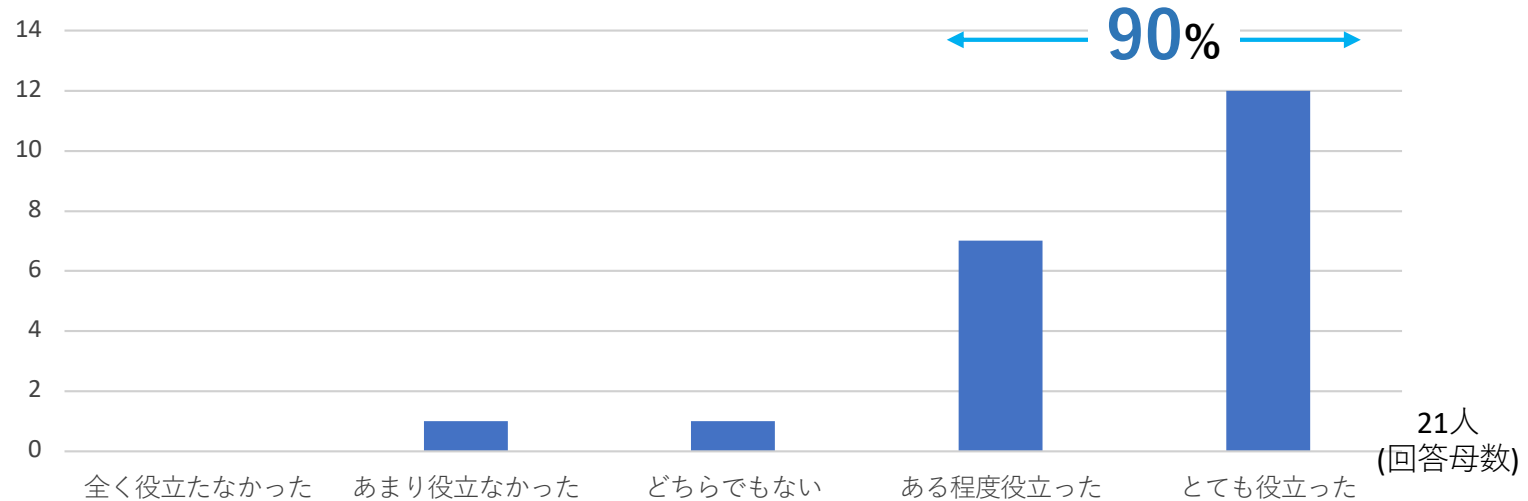




# 設問テーマ-埴生中学WS-ワークショップ

## ワークショップについて高評価が得られた

Q1 今回の防災に関するws（ワークショップ）は、あなたの防災意識の向上に役立ちましたか？



学校では先生の話をよく聞いてから行動してくださいみたいなことを避難訓練とかで聞くけど、実際は自分の命は自分で守ったほうが良いということを改めて知ったから。

家でもペットを飼っているから避難所につれて行きたいけど動物アレルギーがある人もいるから連れて行けないと思っていたけど動物アレルギーの人がいるけど大事な家族だからおいて行くわけには行かないからもし防災が起きたら真っ先に家族みんな安全な所へ避難するという決心が付きしました。

津波でんでんこは各自で命を守れる最善の行動を周りを気にしないで取ることだと知り、実際に被害にあった人が伝える言葉は説得力があって、役立ったから。

防災についてこんなに深く考えたことはなくて、話を聞いて防災に対する意識が高まったと思ったから。

なんとなくの知識しかなくてクイズをやった時に全然分からなかったので今回のwsでなるほどと思ったことがあったから。

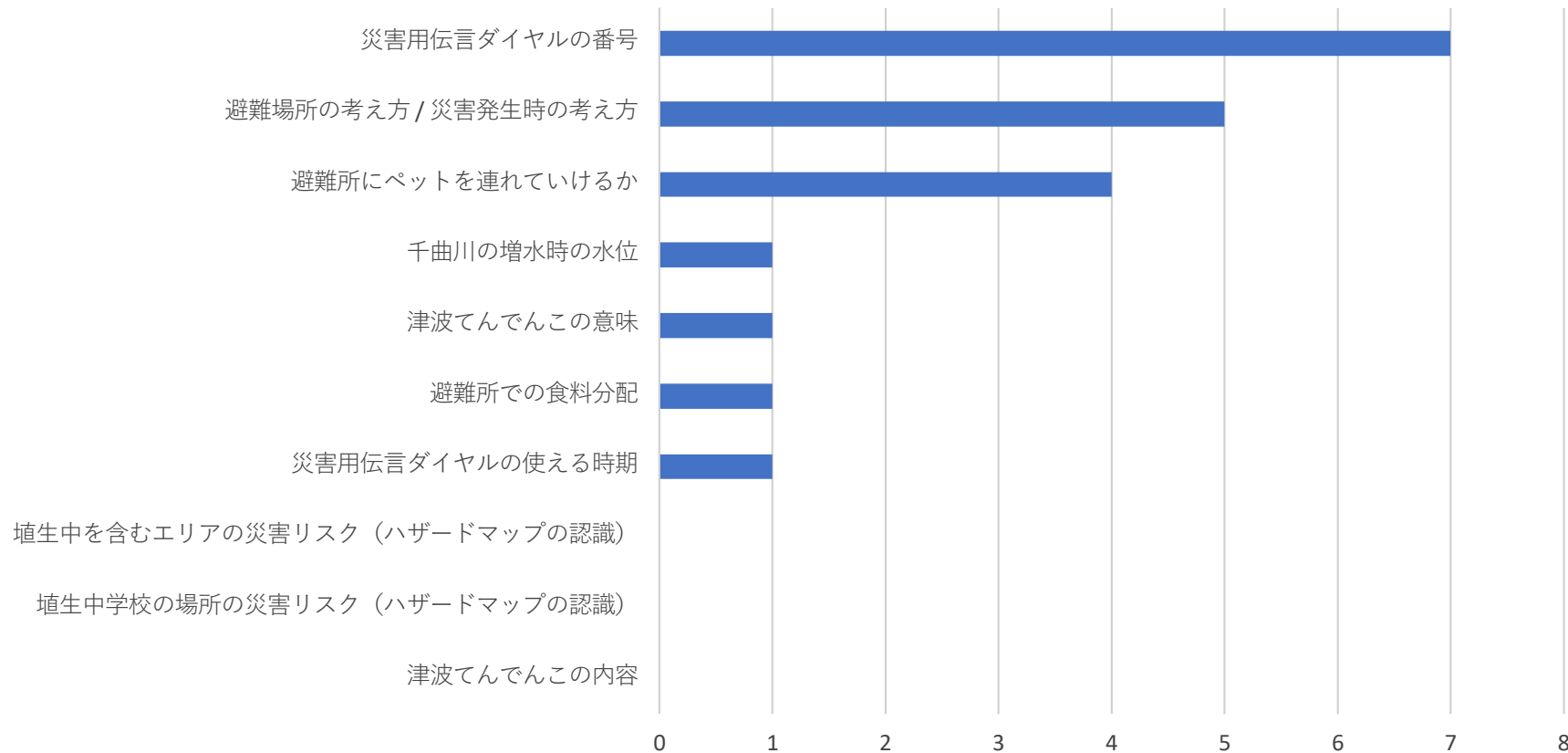
自分の身は自分で守る 避難所での事など改めて知ることができた。

災害時には誰かを待っているのではなく、自分で安全だと思ったところに逃げるということを聞いたから。

# 設問テーマ-埴生中学WS-ワークショップ

災害用ダイヤルなどの設問が勉強になったと評価された。  
屋代中学校に比べて、回答者が少ないことも下記に影響していると考えられる。

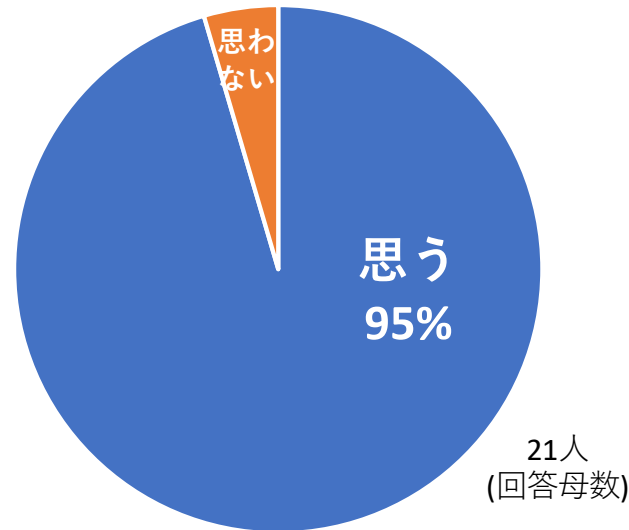
Q2 設問の中で、特に役立った情報、勉強になった情報はどれですか？



# 設問テーマ-埴生中学WS-ワークショップ

『ポリネコ！CHIKUMA』について高評価を得られた。

Q3 スマホやパソコンで学習しながらアンケートに答えて回答状況も確認できるシステム『ポリネコ！CHIKUMA』は、これからのDX（デジタル・トランスフォーメーション）、デジタル社会に必要なだと思いましたか？



学習して知識を持つことは、どの時代になっても必要だから。

最近だとテレビのニュースを見ない人が増えてきているから

市民の意見に耳を傾けることは市の成長に必要なと思うから。

アンケートに答えることで自分がどれだけ災害や防災のことをわかっているか知ることができるから。

ポリネコからたくさんの情報が入ってくるから

災害時などの正しい知識を得られ、アンケートに答えることで自分の意見を持ち、災害時には自分で行動できると思うから。

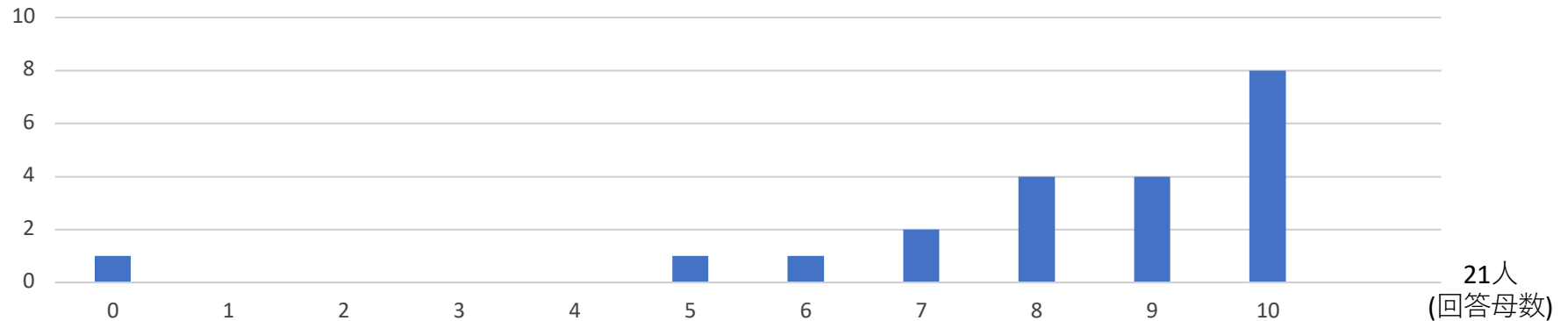
インターネット上では市役所で言えにくいことも書けるから、もっと市と市民が意見を交わせるようになると思うから。

地域の人の提案を聞くことができるから

# 設問テーマ-埴生中学WS-ワークショップ

『ポリネコ！CHIKUMA』をまわりの人に勧める傾向も高い結果となった。

Q4 家族や友人などまわりの人たちに、今回の防災に関するオンライン設問（『ポリネコ!CHIKUMA』）の利用を勧めたいと思いますか？



災害について正しい知識をつけていれば、助かる可能性が高くなるから。

すごく良いアプリだから

市役所の人だけじゃ大変なので自分でも勧めたいと思っているからです。

大人でも防災について忘れていたり知らないこともあるから

千曲市の防災に関して、あまり意識していな人や、避難場所のことなどわかっていないかも知れないし、実際に自分も今回のワークショップで改めて災害について意識が高まったから。

ちょっと開くのはめんどくさいけど答えたら絶対に今後役に立つと思ったから。

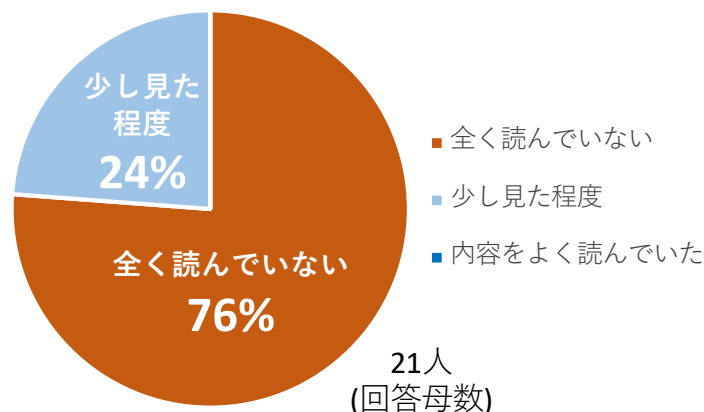
みんなに災害についての意識を高めてほしい。

災害時の避難の仕方や、正しい知識を得られるから、いざ災害が起きても困らないと思うから。

# 設問テーマ-埴生中学WS-ワークショップ

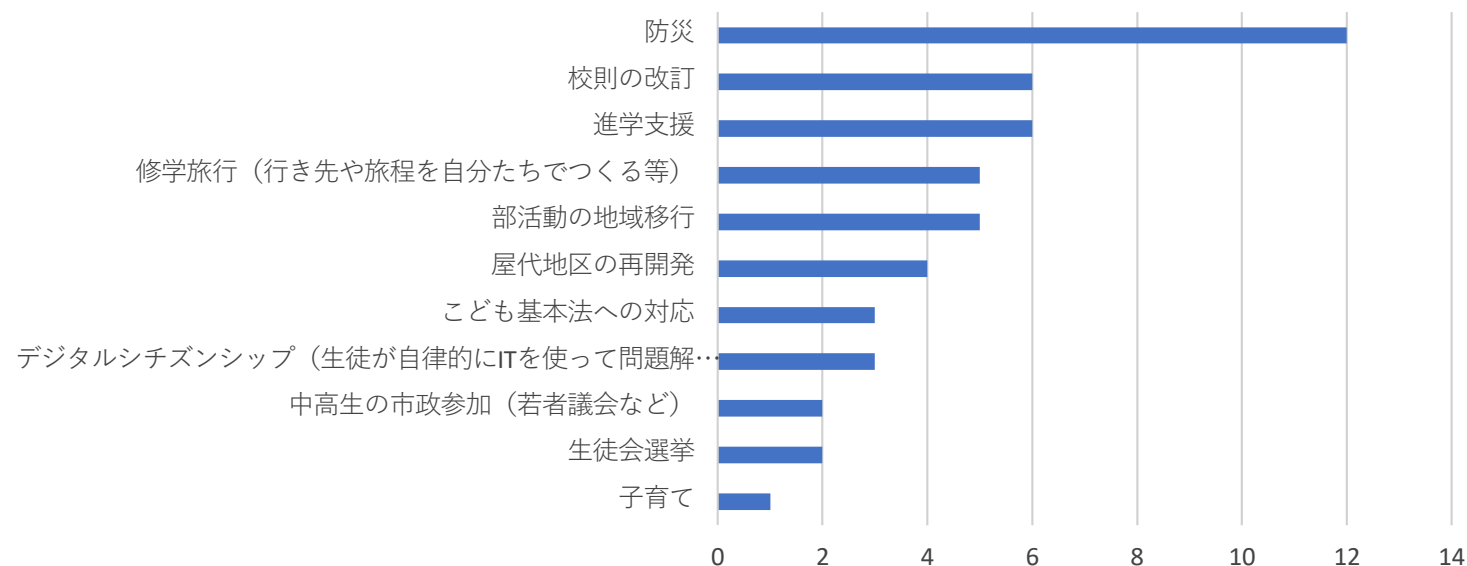
## こちらでも、広報誌が中学生に届いていない状況が確認された

Q4 『市報 ちくま10月号（2022年）』では、『ポリネコ！CHIKUMA』を特集して紹介しました。  
この市報を読みましたか？



中学生に向けた広報を行うことの  
重要性、必要性を示唆する結果と  
なっている

Q5 今後、あなたの暮らしや千曲市に関わることで、『ポリネCHIKUMA』で取り上げたら良いと思うテーマ  
(地域やあなたにとっての課題) はありますか？



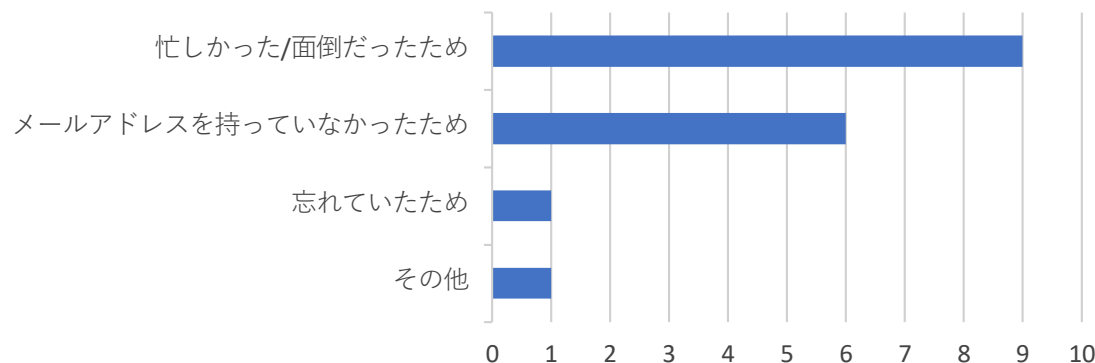
屋代中学と回答率が  
大きく異なるため、単純な  
比較はできないが、  
校則の改定や修学旅行など、  
自分たちの学びの環境を  
自分たちでより良くしたい  
意向が確認された。



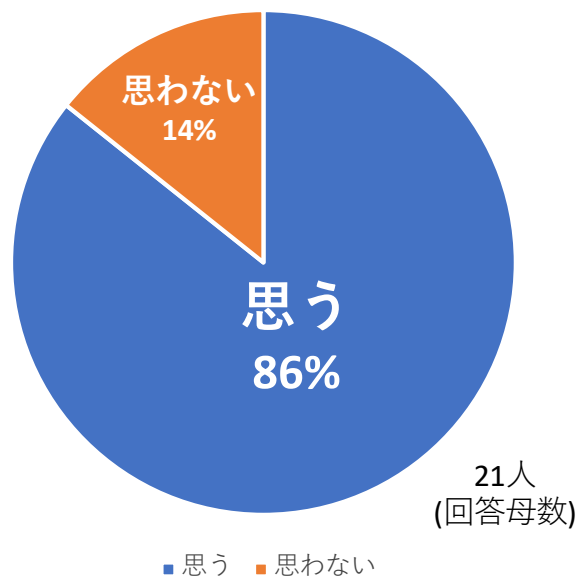
# 設問テーマ-埴生中学WS-ワークショップ

## 『ポリネコ!CHIKUMA』への参加意向の高さが確認できた

Q6 (今回の、防災学習より以前に『ポリネコ!CHIKUMA』に回答しなかった方のみにお尋ねします。)  
今回、防災学習より以前の期間に回答しなかった理由を教えてください。



Q7 今回の学習、ワークショップを受けて、次回機会があったら『ポリネコ!CHIKUMA』に参加(または参加登録)してみようと思いましたか？



(屋代中学校と同様に)  
参加意向は高いものの、  
回答どおりに参加登録は増えていないので、  
中学生に向けたアプローチを途切れないように  
行うことが有効と考えられる。

# 2023年度の取り組み

# 『ポリネコ!CHIKUMA』 2023年の取り組み予定テーマ

2023年の取り組みテーマとして下記のテーマを想定。下記以外にも「ゴミ処理」「水道広域化」などにも対応可能です。  
2022年の展開で広報からの任意の参加受付では動機づけが十分ではないことが判明したことから、学校を通じた参加促進（テーマ1,2,6）のほか、[市民の方々に郵送で参加要請を送り書面からサイトに誘導することが必要](#)と言えます。  
特に1.は議会議員の回答機能を使うことで、中高生と議会と一緒に千曲市でのこども基本法のあり方を考え、意思形成をすることで、千曲市をこども基本法に基づく[〈日本で一番こどもの声に応えるまち〉](#)にすることが可能です。

## 1・こども基本法（最優先-1）

こども基本法の趣旨を理解した上で、千曲市のこどもが暮らす環境をどう構築・運営するかについて市民と議会が『ポリネコ!CHIKUMA』を通じて意思表示を行うことで、意思形成を行う。特に（第3条：「意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会」の確立、第10条：「市町村こども計画」への対応）に対応する。

## 2・UIIターン（高校生、大学生対象）（最優先-2）

千曲市の高校生、大学生を対象に、UIIターンに関わる施策や方針への認識を高めていただいた上で、これからどうしたいか、やりたいことへのハードルがあればそれは何かなどを尋ねることで高校生、大学生をはじめとする次世代層の定住、UIIターンの率を高める方針を、実際の声である回答データをもとに策定する（\*一部、中学生に回答受付すること、対面でのグループインタビューを行うことも有効であるため検討）

## 3・中学生対象の防災ワークショップ

市内中学校の2年生を対象に、防災テーマに各校の立地の災害リスク設問を加えた学校ごとの設問を展開。回答集計後に各校に訪問ワークショップを行い中学生の防災意識を高めつつ、地域参加のきっかけを提供する。

## 4・千曲市市役所職員の意識形成（仕事への考えの見える化）

千曲市市役所職員の方々を対象に、日本の自治体経営、千曲市を取り巻く諸状況への認識を高めていただいた上で、これからどうしたいか、やりたいことへのハードルがあればそれは何かなどを尋ねることで仕事への姿勢をタイプ判定し、集計とフィードバックを通じて市役所全体の意思形成を行います。

## 5・千曲市の防災（2023）

2022年の設問を踏襲する設問を2023年に実施、市民の防災意識を高めながら、協力関係にある市民を増やしつつ、市民の防災に関わる不安の減少につながるコミュニケーションを展開します。

## 6・部活動地域移行の意識形成（1のあとに展開）

1.にも連携するテーマとして、児童・生徒を対象に部活動の地域移行を行うための意向調査を、制度への理解を深めながら行う。  
また、児童・生徒の保護者、市民を対象に指導者を募ることも考えられる。（坂城町などと広域で行う対応も可能）

## 7・消防団への調査

2022年度の調査において、低い回答率であったことを受け、各分団ごとなどの追加調査を行う。

## 8・テーマ（取り上げてほしい課題）や地域課題の受付

意見を受け付けるフォームを毎月ごとに開設。受け付けた意見をメールなどで登録者、庁内にもフィードバックします。

## 1・こども基本法への対応（意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会）を ポリネコ!CHIKUMAで設けて千曲市こども計画を策定、運用

\* 同じ枠組みで、「7・部活動の地域移行」に対応できます。

広報で告知（5月号または6月号）

- ・ 教員の方々への説明と回答参加
- ↓
- ・ 児童、生徒への説明と回答参加
- ↓
- ・ 議員の方々への説明と回答参加
- ↓
- ・ 保護者の方々への説明と回答参加  
（郵送案内）
- +
- ・ 市民の方々のこども基本法への  
理解を高める設問

児童生徒を含む住民からの輿論と議会の承認の  
もとに条例を制定

### 千曲市こども計画を策定

意見を表明する機会及び  
多様な社会的活動に参画する機会

を『ポリネコ!CHIKUMA』で確保

\* メールアドレス以外での利用方法は別途検討



改良・改善を  
継続的に実施

### <設問の設計>



設問を通じて、  
こども基本法の背景や  
これから保証される権利  
などを知り、学べるように設計。  
前提知識を持った上で  
千曲市でのこども環境に  
ついて意見を示し、意思を  
示せるようにタイプを設計

### <参考情報>

#### ・ 大川小津波裁判- 高裁判決での論理構成

平時からの組織的過失（緊急時の対応の  
過失ではなく、子どもを守る立場にある  
教育委員会や市長、校長が、それぞれの  
立場でできる最大限の義務（情報共有や  
対応策）を履行していなかったことに過  
失があったと指摘）

### <熊本市との連携も視野に入られます>

<授業に参加してくれた小中学生の感想より>

意欲・関心・行動  
→「未来」の幸せへ

おもしろい

子どもにも権利がある  
（大人だけでなく）

おどろいた  
びっくりした

大人や世の中  
（政治含め）への信頼感  
→「今」の幸せ

うれしかった  
よかった  
感謝

子どもが  
大切にされている  
守られている

もっと知りたい  
学びたい  
行動したい



- 1・こども基本法の対象は18歳が目安となります。（法的には年齢の区切りはなく、成長過程を重視しており大学生も対象となりえます。）千曲市の小中学校、高校生を中心に『ポリネコ!CHIKUMA』を通じて、こども基本法への理解を高めつつ、千曲市におけるこどもの地域、社会参画が在り方について、意思表示を行う学習型輿論調査を実施。

回答対象者は下記を想定

千曲市の小中学校教職員	約300名
千曲市の中学生	約1,660名
千曲市の高校生	約1,500名
千曲市の小中高保護者	約10,000名

13460名

学校間の温度差があることは既に確認されており、市役所、教育委員会と密接に連携し、次世代層と千曲市のコミュニケーションの基礎を構築する取り組みとして、回答参加を促す必要がある。

回答率50%で 6730名

\*小学生にも告知を実施。  
但し、メールアドレスを持っていないことが多いため告知にとどめ、参加可能は人は歓迎するアプローチをとる

- 2・千曲市職員（一般職員375名）の回答機会を1.こども基本法、5.職員の意識形成、6.千曲市の防災などの設問テーマを通じて提供、市役所職員全員が『ポリネコ!CHIKUMA』を知っている、参加している状態をつくります。

画面掲示板での告知では回答率が上がらないことが少子化意識調査で確認されており、各部署ごとなどの説明会を行いその場で、参加登録していただくなどの方法で、回答参加を促す必要がある。

回答率100%で 375名



# 『ポリネコ!CHIKUMA』 2023年の取り組み予定-ブログの開設、運営

- ・ 双方向のコミュニケーションに対応するブログを開設
- ・ 設問テーマへの回答分析や、設問の背景などを解説する記事を掲載
- ・ 市役所SNSと継続的に連携することで市民に認知される機会を増やす

<https://chikuma.polineco.jp/>



千曲市役所公式SNS



- ・ 『ポリネコ!CHIKUMA』の取り組みを継続的に紹介する記事コンテンツを発信。
- ・ コメントに寄せられた質問に回答するといった、フィードバックコンテンツの開発も予定。
- ・ 設問の解説、回答集計の紹介などを行うことで、読むことからの回答参加を促す。